NEC

US110c
ユーザーズガイド

856-129025-022-00
2011年　2月　初版

商標について

MicrosoftおよびWindowsは、Microsoft Corporationの登録商標です。

オペレーティングシステムの表記について

Windows Server 2003はMicrosoft® Windows® Server 2003, Standard Edition operating systemおよびMicrosoft® Windows® Server 2003, Enterprise Edition operating systemの略です。Windows 2000はMicrosoft® Windows® 2000 Server operating systemおよびMicrosoft® Windows® 2000 Advanced Server operating system、Microsoft® Windows® 2000 Professional operating systemの略称です。Windows XPはMicrosoft® Windows® XP Home Edition operating systemおよびMicrosoft Windows XP Professional operating systemの略です。Windows XP EmbeddedはMicrosoft® Windows® XP Embeddedの略称です。Windows NTはMicrosoft® Windows NT® Server network operating system version 3.51/4.0およびMicrosoft® Windows NT® Workstation operating system version 3.51/4.0の略称です。Windows MeはMicrosoft® Windows® Millennium Edition operating systemの略称です。Windows 98はMicrosoft® Windows®98 operating systemの略称です。Windows 95はMicrosoft® Windows®95 operating systemの略称です。Windows CE 5.0はMicrosoft® Windows® CE Version5.0の略称です。Windows CE 6.0はMicrosoft® Windows® CE Version6.0の略称です。
Windows Embedded StandardはMicrosoft® Windows® Embedded Standard の略称です。

ご注意

(1) 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
(2) 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
(3) 弊社の許可なく複製・改変などを行うことはできません。
(4) 本書は内容について万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきのことがありましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。
(5) 運用した結果の影響については(4)項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。

© NEC Corporation 2011

このユーザーズガイドは、必要なときすぐに参照できるよう、お手元に置いておくようにしてください。「使用上のご注意」を必ずお読みください。

⚠ 使用上のご注意 - 必ずお読みください -

本製品を安全に正しくご使用になるために必要な情報が記載されています。また、本文中の名称については2ページの「各部の名称と機能」をご参照ください。

安全にかかわる表示について

本製品を安全にお使いいただくために、このユーザーズガイドの指示に従って操作してください。
このユーザーズガイドには本製品のどこが危険か、どのような危険に遭うか、どうすれば危険を避けられるかなどについて説明されています。
ユーザーズガイドでは、危険の程度を表す言葉として、「警告」と「注意」という用語を使用しています。それぞれの用語は次のような意味を持つものとして定義されています。

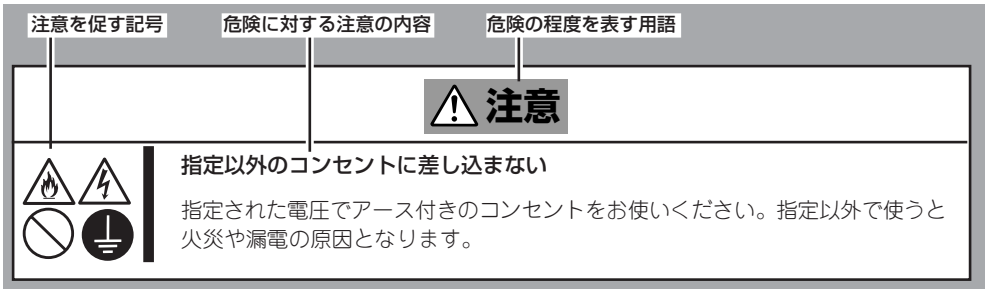
⚠警告 **人が死亡する、または重傷を負うおそれがあることを示します。**

⚠注意 **火傷やけがなどを負うおそれや物的損害を負うおそれがあることを示します。**

危険に対する注意・表示は次の3種類の記号を使って表しています。それぞれの記号は次のような意味を持つものとして定義されています。

△	**注意の喚起**	この記号は危険が発生するおそれがあることを表します。記号の中の絵表示は危険の内容を図案化したものです。	（例） （感電注意）
⃠	**行為の禁止**	この記号は行為の禁止を表します。記号の中や近くの絵表示は、してはならない行為の内容を図案化したものです。	（例） （分解禁止）
●	**行為の強制**	この記号は行為の強制を表します。記号の中の絵表示は、しなければならない行為の内容を図案化したものです。危険を避けるためにはこの行為が必要です。	（例） （プラグを抜け）

（ユーザーズガイドでの表示例）



本書と警告ラベルで使用する記号とその内容

注意の喚起

	感電のおそれのあることを示します。		発煙または発火のおそれがあることを示します。
	爆発または破裂のおそれがあることを示します。		けがをするおそれがあることを示します。
	特定しない一般的な注意・警告を示します。		

行為の禁止

	本製品を分解・修理・改造しないでください。感電や火災のおそれがあります。		水や液体がかかる場所で使用しないでください。水にぬらすと感電や発火のおそれがあります。
	指定された場所には触らないでください。感電や火傷などの傷害のおそれがあります。		火気に近づけないでください。発火するおそれがあります。
	ぬれた手で触らないでください。感電するおそれがあります。		特定しない一般的な禁止を示します。

行為の強制

	本製品の電源プラグをコンセントから抜いてください。火災や感電のおそれがあります。		特定しない一般的な使用者の行為を指示します。説明に従った操作をしてください。
	必ず接地してください。感電や火災のおそれがあります。		

安全上のご注意

本製品を安全にお使いいただくために、ここで説明する注意事項をよく読んでご理解し、安全にご活用ください。記号の説明についてはiiiページの『安全にかかわる表示について』の説明を参照してください。

全般的な注意事項

⚠警告

人命に関わる業務や高度な信頼性を必要とする業務には使用しない

本製品は、医療機器・原子力設備や機器、航空宇宙機器・輸送設備や機器など、人命に関わる設備や機器および高度な信頼性を必要とする設備や機器などへの組み込みやこれらの機器の制御などを目的とした使用は意図されておりません。これら設備や機器、制御システムなどに本製品を使用した結果、人身事故、財産損害などが生じても弊社はいかなる責任も負いかねます。

煙や異臭、異音がしたまま使用しない

万一、煙、異臭、異音などが生じた場合は、ただちに電源をOFFにして電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、お買い求めの販売店または保守サービス会社にご連絡ください。そのまま使用すると火災の原因となります。

針金や金属片を差し込まない

通気孔やUSBコネクタ等のすきまから金属片や針金などの異物を差し込まないでください。感電の危険があります。

⚠注意

日本国外で使用しない

本装置は、日本国内用として製造・販売しています。日本国外では使用できません。この装置を日本国外で使用すると火災や感電の原因となります。

本製品内に水や異物を入れない

本製品内に水などの液体、ピンやクリップなどの異物を入れないでください。火災や感電、故障の原因となります。もし入ってしまったときは、すぐ電源をOFFにして、電源プラグをコンセントから抜いてください。分解しないで販売店または保守サービス会社にご連絡ください。

電源・電源コードに関する注意事項

⚠警告

ぬれた手で電源プラグを持たない

ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしないでください。感電するおそれがあります。

アース線をガス管につながない

アース線は絶対にガス管につながないでください。ガス爆発の原因になります。

⚠注意

指定以外のコンセントに差し込まない

指定された電圧でアース付のコンセントをお使いください。指定以外で使うと火災や漏電の原因となります。また、延長コードが必要となるような場所には設置しないでください。本製品の電源仕様に合っていないコードに接続すると、コードが過熱して火災の原因となります。

たこ足配線にしない

コンセントに定格以上の電流が流れることによって、過熱して火災の原因となるおそれがあります。

中途半端に差し込まない

電源プラグは根元までしっかりと差し込んでください。中途半端に差し込むと接触不良のため発熱し、火災の原因となることがあります。また差し込み部にほこりがたまり、水滴などが付くと発熱し、火災の原因となるおそれがあります。

指定以外の電源コードを使わない

本製品に添付されている電源コード以外のコードを使わないでください。電源コードに定格以上の電流が流れると、火災の原因となるおそれがあります。また、電源コードの破損による感電や火災を防止するために次の注意をお守りください。

- コード部分を引っ張らない。
- 電源コードを折り曲げない。
- 電源コードをねじらない。
- 電源コードを踏まない。
- 電源コードを束ねたまま使わない。
- 電源コードをステープラ等で固定しない。
- 電源コードをはさまない。
- 電源コードに薬品類をかけない。
- 電源コードの上にものを載せない。
- 電源コードを改造・加工・修復しない。
- 損傷した電源コードを使わない。（損傷した電源コードはすぐ同じ規格の電源コードと取り替えてください。交換に関しては、お買い求めの販売店または保守サービス会社にご連絡ください。）

添付の電源コードを他の装置や用途に使用しない

添付の電源コードは本製品に接続し、使用することを目的として設計され、その安全性が確認されているものです。決して他の装置や用途に使用しないでください。火災や感電の原因となるおそれがあります。

電源ケーブルを持って引き抜かない

ケーブルを抜くときはコネクタ部分を持ってまっすぐに引き抜いてください。ケーブル部分を持って引っ張ったりコネクタ部分に無理な力を加えたりするとケーブル部分が破損し、火災や感電の原因となります。

設置・移動・保管・接続に関する注意事項

⚠ 注意

指定以外の場所に設置・保管しない

本製品を次に示すような場所や本書で指定している場所以外に置かないでください。火災の原因となるおそれがあります。

- ほこりの多い場所。
- 給湯器のそばなど湿気の多い場所。
- 直射日光が当たる場所。
- 不安定な場所。

腐食性ガスの存在する環境で使用または保管しない

腐食性ガス（二酸化硫黄、硫化水素、二酸化窒素、塩素、アンモニア、オゾンなど）の存在する場所に設置し、使用しないでください。また、ほこりや空気中に腐食を促進する成分（塩化ナトリウムや硫黄など）や導電性の金属などが含まれている環境へも設置しないでください。装置内部のプリント板が腐食し、故障および発煙・発火の原因となるおそれがあります。もしご使用の環境で上記の疑いがある場合は、販売店または保守サービス会社にご相談ください。

電池に関する注意事項

⚠警告

電池は火の中に入れない

火の中に入れたり、加熱したりすると爆発したり、破裂したりするおそれがあります。

電池を分解、改造しない

分解、改造すると破裂したり、液もれするおそれがあります。弊社指定以外の電池は、品質、性能、安全性について保証の対象外となります。

⚠注意

電池はお子さま、特に乳幼児の手の届かない場所に保管する

電池内部には、有害物質を含んでいるため、誤って飲み込んだり、なめたりすると危険です。万一、飲み込んだ場合は、直ちに医師にご相談ください。

運用中の注意事項

⚠ 注意

雷がなったら触らない

雷が鳴りだしたら、ケーブル類も含めて本装置には触れないでください。
また、機器の接続や取り外しも行わないでください。落雷による感電のおそれがあります。

ペットを近づけない

本製品にペットなどの生き物を近づけないでください。排泄物や体毛が本製品内部に入って火災や感電の原因となります。

通気開口部をふさがない

内部に熱がこもり、発煙、発火の原因となるおそれがあります。

ヘッドフォンを耳に当てたまま接続しない

ヘッドフォンを耳に当てたままヘッドフォン端子に接続しないでください。耳を痛めるおそれがあります。また、接続前にボリュームが大きくなっていないことを確認してください。

通気開口部に注意する

通気開口部とその周辺は、室温よりも高い温度となっております。長時間触れていると、低温やけどのおそれがありますので、肌の弱い方などは特にご注意ください。

無線機能使用に関する注意事項

⚠警告

埋め込み型心臓ペースメーカー装着部から30cm以上離して使用する

埋め込み型心臓ペースメーカーを装着されている方は、本製品を心臓ペースメーカー装着部から30cm以上離して使用してください。電波により影響を受けるおそれがあります。

医療機関など本製品の使用を禁止した区域では本製品の電源または無線機能をOFFにする

医療機関などで本製品の使用を禁止した区域では、本製品の電源をOFFにするか、無線LANなどの無線機能をOFFにしてください。また、医療機関などで本製品の使用を認めた区域でも、近くで医療機器が使用されている場合には、本製品の電源をOFFにするか、無線LANなどの無線機能をOFFにしてください。医療機器に影響を与え、事故の原因になることがあります。詳しい内容については、各医療機関にお問い合わせください。

他の機器に電波障害を引き起こした場合は本製品の無線機能をOFFにする

本製品の無線機能を使用中に、他の機器に電波障害を引き起こした場合は、速やかに無線機能をOFFにするか、本製品の使用を中止してください。機器に影響を与え、誤動作による事故の原因になるおそれがあります。

お手入れに関する注意事項

⚠警告

自分で分解・修理・改造はしない

絶対に分解したり、修理・改造を行ったりしないでください。本製品が正常に動作しなくなるばかりでなく、感電や火災の危険があります。

電源プラグを差し込んだまま取り扱わない

お手入れや装置に接続されているケーブルの取り付け/取り外しは、本製品の電源をOFFにして、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。たとえ電源をOFFにしても、電源コードを接続したまま本製品内の部品に触ると感電するおそれがあります。
また、電源プラグはときどき抜いて、乾いた布でほこりやゴミをよくふき取ってください。ほこりがたまったままで、水滴などが付くと発熱し、火災の原因となるおそれがあります。

取り扱い上のご注意

本製品を正しく動作させるために次に示す注意事項をお守りください。これらの注意を無視した取り扱いをすると本製品の誤動作や故障の原因となります。

- 初回電源投入時は、ネットワークケーブルを接続しないでください。
  ネットワークケーブルを接続した状態で初回起動時に、セットアップウィザードを使用してUS110cの 基本設定を行うと、コントロールパネルからの設定変更後に画面の表示がくずれる場合 があります。画面がくずれる現象が発生した場合は、本ガイド[キーボードの「G」キーによるリセット機能を使用する]の項を参照し、US110cを工場出荷時状態に戻し、ネットワークケーブルを接続しない状態で本ガイド[セットアップウィザードの使用]の項を参照し、US110cの基本設定を行ってください。
- 本製品の電源を一度OFFにした後、再びONにするときは10秒以上経過してからにしてください。無停電電源装置(UPS)に接続している場合も10秒以上経過してからONになるようにスケジューリングの設定をしてください。
- 本製品を移動する前に電源をOFFにして、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 定期的に本製品を清掃してください。定期的な清掃はさまざまな故障を未然に防ぐ効果があります。
- 落雷等が原因で瞬間的に電圧が低下することがあります。この対策として無停電電源装置等を使用することをお勧めします。
- 本製品を正しく動作させるためにも室温を保てる場所に保管することをお勧めします。装置を保管する場合は、保管環境条件(温度：-20℃～60℃、湿度：20%～80%)を守って保管してください(ただし、結露しないこと)。
- 本製品のそばでは携帯電話やPHS、ポケットベルの電源をOFFにしておいてください。電波による誤動作の原因となります。
- インタフェースケーブルの取り扱いや接続について次の注意をお守りください。
  - ー　破損したケーブルコネクタを使用しない。
  - ー　ケーブルを踏まない。
  - ー　ケーブルの上にものを載せない。
  - ー　ケーブルの接続がゆるんだまま使用しない。
  - ー　破損したケーブルを使用しない。
- 本装置、内蔵型のオプション機器などは、寒い場所から暖かい場所に急に持ち込むと結露が発生し、そのまま使用すると誤作動や故障の原因となります。保管した大切なデータや資産を守るためにも、使用環境に十分になじませてからお使いください。
- オプションは本体に取り付けられるものであること、また接続できるものであることを確認してください。たとえ本体に取り付けや接続ができても正常に動作しないばかりか、本体が故障することがあります。
- オプションは弊社の純正品をお使いになることをお勧めします。他社製のメモリやハードディスクドライブには本装置に対応したものもありますが、これらの製品が原因となって起きた故障や破損については保証期間中でも有償修理となります。

保守サービスについて

本装置の保守に関して専門的な知識を持つ保守員による定期的な診断・保守サービスを用意しています。
本装置をいつまでもよい状態でお使いになるためにも、保守サービス会社と定期保守サービスを契約されることをお勧めします。

動作保障されない機能について

以下に記載の機能につきましては現時点では動作を保証しておりません。これらは将来の機能強化時の参考とするために記載しています。あらかじめご了承ください。

- セーフモードでの起動
- Line Printer Daemon（LPD）
- LPR
- ダイヤルアップクライアント接続
- Ericom PowerTerm Terminal Emulation接続
- Ericom - WebConnect Client接続
- PPPoE接続
- ELO Touch
- ELO Touch USB
- モデム
- ポート
- ローカルプリンタ・ネットワークプリンタ

健康を損なわないためのアドバイス

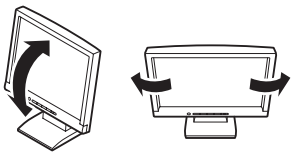
コンピュータ機器を長時間連続して使用すると、身体の各部に異常が起こることがあります。コンピュータを使用するときは、主に次の点に注意して身体に負担がかからないよう心掛けましょう。

よい作業姿勢で

コンピュータを使用するときの基本的な姿勢は、背筋を伸ばして椅子にすわり、キーボードを両手と床がほぼ平行になるような高さに置き、視線が目の高さよりもやや下向きに画面に注がれているという姿勢です。『よい作業姿勢』とはこの基本的な姿勢をとったとき、身体のどの部分にも余分な力が入っていない、つまり緊張している筋肉がもっとも少ない姿勢のことです。
『悪い作業姿勢』、たとえば背中を丸めたかっこうやディスプレイ装置の画面に顔を近づけたままの状態で作業を行うと、疲労の原因や視力低下の原因となることがあります。

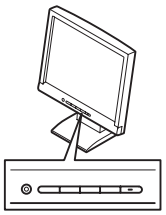
ディスプレイの角度を調節する

ディスプレイの多くは上下、左右の角度調節ができるようになっています。まぶしい光が画面に映り込むのを防いだり、表示内容を見やすくしたりするためにディスプレイの角度を調節することは、たいへん重要です。角度調節をせずに見づらい角度のまま作業を行うと『よい作業姿勢』を保てなくなりすぐに疲労してしまいます。ご使用の前にディスプレイを見やすいよう角度を調整してください。



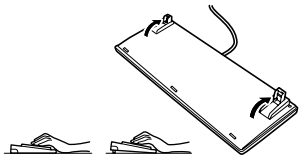
画面の明るさ・コントラストを調節する

ディスプレイは明るさ（ブライトネス）・コントラストを調節できる機能を持っています。年齢や個人差、まわりの明るさなどによって、画面の最適なブライトネス・コントラストは異なりますので、状況に応じて画面を見やすいように調節してください。画面が明るすぎたり、暗すぎたりすると目に悪影響をもたらします。



キーボードの角度を調節する

オプションのキーボードには、角度を変えることができるよう設計されているものもあります。入力しやすいようにキーボードの角度を変えることは、肩や腕、指への負担を軽減するのにたいへん有効です。



機器の清掃をする

機器をきれいに保つことは、美観の面からだけでなく、機能や安全上の観点からも大切です。特にディスプレイの画面は、ほこりなどで汚れると、表示内容が見にくくなりますので定期的に清掃する必要があります。

疲れたら休む

疲れを感じたら手を休め、軽い体操をするなど、気分転換をはかることをお勧めします。

はじめに

Microsoft® Windows® CE 6.0を実行するUS110cを使用することにより、Citrix™ ICAおよびMicrosoft™ RDPセッションサービスを提供するマシンで利用可能なアプリケーション、ファイル、およびネットワークリソースを利用することができます。
US110cの特徴を以下に示します。

- フル機能を搭載したInternet Explorerブラウザ(for Windows CE)がインストールされています。
- ローカルでインストールする各種ソフトウェアによってUS110cのリモート管理を実現し、ローカル保守機能を提供します。
- 32-bit Windows互換のセキュアなWindowsユーザーインタフェースを必要とする環境向けの様々な周辺機器および機能をサポートするアドオンを追加できます。

企業ネットワークで可能なセッションサービスやネットワークサービスの利用は、US110cから企業の仮想プライベートネットワーク(VPN)サーバーに接続して行います。接続方法として以下の方法があります。

- 直接、企業イントラネットに接続する。
- ダイヤル アップサーバーを経由して接続する(企業イントラネット/インターネットに接続)。
- インターネットを経由して接続する(インターネットサービスプロバイダ(ISP)よりインターネットにアクセス)。

本書について

本書は、Microsoft Windows CE 6.0を実行するUS110ｃのユーザーを対象としています。ユーザーがUS110ｃ環境を設計・管理するために役立つ情報や詳細なシステム設定を紹介しています。

重要 **ご使用のハードウェアまたはソフトウェア構成によっては、表示される画面の内容が本書の例とは異なる場合があります。**

本書は、Microsoft社が提供するMicrosoft Windows CE 6.0の標準マニュアルを補完するものです。US110ｃを使用することにより生じる差異、強化点、追加機能などを説明しています。

重要 **本書はMicrosoft Windows CE 6.0の標準機能の説明を意図したものではありません。**

Windows CE 6.0のヘルプには、マイクロソフトサポートオンラインからアクセスできます（http://support.microsoft.com/default.aspx）。

本書の構成について

本書は以下の章で構成されています。

第1章「US110cについて」では、本製品の設置・接続シャットダウンの方法などについて説明しています。

第2章「導入」では、US110cを使用する際の基本的な設定に役立つ情報を記載しています。US110cの基本機能を説明し、管理者およびユーザー向けにUS110cの設定手順を記述します。

第3章「シンクライアントの設定」では、コントロールパネルの使用方法、初期設定、ネットワークの設定などについて説明しています。

第4章「運用・保守」では、日常の保守、トラブルシューティングについて説明しています。「故障かな？」と思ったときは、装置の故障を疑う前に参照してください。

必要な情報を見つけるには

PDF文書を開いた状態で、[検索]ウィンドウまたは[Find]ツールバー のいずれかを使用して、単語、語句、または単語の一部を検索できます。これらの機能の使用については、ご使用のPDFリーダーのヘルプを参照してください。

付属品の確認

梱包箱の中には、本製品以外にいろいろな付属品が入っています。添付のスタートアップガイドを参照してすべてがそろっていることを確認し、それぞれ点検してください。万一足りないものや損傷しているものがある場合は、販売店に連絡してください。

第三者への譲渡について

本製品を第三者に譲渡（または売却）するときは、本書および添付の部品や説明書、ライセンス許諾書などのドキュメントも一緒にお渡しください。譲渡や売却の際には、必ず渡してください。

消耗品・装置の廃棄について

本製品および電池の廃棄については各自治体の廃棄ルールに従ってください。詳しくは、各自治体へお問い合わせください。なお、本製品に添付の電源コードについても他の装置への転用を防ぐため、本体と一緒に廃棄してください。

本製品の輸送について

本製品およびオプションなどには、リチウム金属電池あるいはリチウムイオン電池を使用しています。リチウム電池の輸送に関しては、航空・海上輸送規制が適用されますので、本製品およびオプションの航空機、船舶等での輸送については、お買い求めの販売店、または保守サービス会社へお問い合わせください。

各種権利、US110cが準拠する規制について

限定権利の説明

ユーザーは、本ソフトウェアが米国製であることを確認するものとします。また、ユーザーは、米国輸出管理規則をはじめとする本ソフトウェアに適用されるすべての適用可能な国際法および国内法ならびに米国およびその他の政府によって発行されるエンドユーザー、最終使用、および輸出先国に関する制限事項を遵守するものとします。本ソフトウェアの輸出については、http://www.microsoft.com/exporting を参照してください。

FCC声明

本装置は、テストの結果FCC規則のパート15に従い、クラスAまたはクラスBのデジタルデバイスの制限を遵守していることが確認されています。これらの制限は、住宅に設置するにあたり有害な妨害に対する適切な保護を提供することを目的としています。本装置は無線周波エネルギーを発生、使用、放射しており、指示に従わずに設置または使用された場合、無線通信への有害な妨害の原因となる場合があります。ただし、特定の場所に設置することによって妨害が発生しないという保証はありません。本装置がラジオやテレビの受信の有害な妨害の原因となる場合は(装置電源をオン・オフすることでご確認いただけます)、以下の対策を1つ以上行って妨害を正すことをお勧めします。

- 受信アンテナの向きまたは場所を変更する。
- 装置と受信機の距離をさらに空ける。
- 受信機が接続されているコンセントとは別のコンセントに装置を接続する。
- 取扱店または経験豊富なラジオ技術者またはテレビ技術者に相談する。

本デバイスに適用される関連RF放射制限を確実に遵守するために、本装置にはシールド相互接続ケーブルおよびシールドAC電源ケーブルを使用してください。システムのメーカーによって明示的に許可されていない変更または改造を行うと、装置を操作する権限が無効になる場合があります。

US110cが準拠する規制

基本的なEMCおよび安全要件

US110cは、以下に示されている地域の規制要件に準拠しています。
米国 ― FCC Part 15 (class B), cUL 60950
カナダ ― IC ICES-003, CAN/CSA-C22 No. 60950
ヨーロッパ ― EN 55022 (class B); EN 55024

カナダのDOC通知

クラスA — 本デジタル装置が、カナダ通信省(Department of Communications)の無線妨害規則(Radio Interference Regulations)に定められているデジタル装置からの電波雑音放射について、クラスAの制限を超過することはありません。
Le présent appareil numérique n'émet pas de bruits radioélectriques dépassant les limites applicables aux appareils numériques de la classe A prescrites dans le Réglement sur le brouillage radioélectrique édicté par le Ministère des Communications du Canada.
クラスB — 本デジタル装置が、カナダ通信省の無線妨害規則に定められているデジタル装置からの電波雑音放射について、クラスBの制限を超過することはありません。
Le présent appareil numérique n'émet pas de bruits radioélectriques dépassant les limites applicables aux appareils numériques de la classe B prescrites dans le Réglement sur le brouillage radioélectrique édicté par le Ministère des Communications du Canada.

ワイヤレスの使用および要件

ワイヤレスオプションを備えたモデルには、無線送信タイプのデバイス(RFモジュール)が含まれています。US110cは、2.4 GHz帯域で動作します(802.11b/g/n WLAN)。
一般的な目安として、US110cの近くでワイヤレスデバイスを使用する場合、ワイヤレスデバイスとUS110cの距離は20 cm(8 inches)程度が一般的です(先端部含まず)。ワイヤレスデバイスが起動し送信中の場合は、本デバイスをから20 cm(8 inches)以上離して使用してください。
状況によっては、ワイヤレスデバイスに関する制限事項が求められる場合があります。一般的な制限事項の例としては、以下のようなものがあります。

- ワイヤレスデバイスを使用した場合の処罰が不明な環境では、ワイヤレスデバイスを使用または電源を入れる前に適切な機関に許可を求めてください。
- ワイヤレスデバイスの使用に関する制限は、国によって異なります。お使いのシステムにはワイヤレスデバイスが装備されていますので、本システムを携帯して国境を越える移動を行う場合は、移動または旅行の前に、行先となる国におけるワイヤレスデバイスの使用に関する制限事項を現地の無線承認機関にご確認ください。
- ワイヤレスデバイスをユーザーが修理することはできません。ワイヤレスデバイスはいかなる方法でも改造しないでください。ワイヤレスデバイスを改造すると、使用許可は無効になります。修理が必要な場合は、メーカーにお問い合わせください。

デバイス電源

発送用のダンボールに含まれている、外部電源モデルDA-30E12を使用してください。

目　次

⚠ 使用上のご注意　- 必ずお読みください - iii
安全にかかわる表示について iii
本書と警告ラベルで使用する記号とその内容 iv
安全上のご注意 v
全般的な注意事項 v
電源・電源コードに関する注意事項 vi
設置・移動・保管・接続に関する注意事項 vii
電池に関する注意事項 viii
運用中の注意事項 ix
無線機能使用に関する注意事項 x
お手入れに関する注意事項 xi
取り扱い上のご注意 xii
動作保障されない機能について xiii
健康を損なわないためのアドバイス xiv
はじめに xv
本書について xvi
本書の構成について xvi
必要な情報を見つけるには xvi
付属品の確認 xvii
第三者への譲渡について xviii
消耗品・装置の廃棄について xix
本製品の輸送について xx
各種権利、US110cが準拠する規制について xxi
限定権利の説明 xxi
FCC声明 xxi
US110cが準拠する規制 xxi
基本的なEMCおよび安全要件 xxi
カナダのDOC通知 xxii
ワイヤレスの使用および要件 xxii
デバイス電源 xxii

1 US110cについて 1

各部の名称と機能 2
装置前面 2
装置背面 3
無線LANアンテナ 4
USB2.0ポート 4
AC電源ポート 4

無線LAN機能 5
使用上の注意 5
無線LAN製品ご使用時におけるセキュリティに関するご注意 6
本機で設定できるセキュリティ 7
盗聴(傍受)を防ぐ 7
不正アクセスを防ぐ 7
より高度なセキュリティ設定を行う 7
無線LANの設定 8
無線LAN機能でできること 9

設置 10
設置 10
N8120−106 LCD取り付けブラケット(オプション)を使用した設置 12
接続 13

2 導入 15

電源投入時の処理 16
ログオン 16
割り当てられている権限の確認 18
使用するセッションサービスについて 18
ログオフ、シャットダウン、および再起動 19

デスクトップとConnection Managerについて 20
デスクトップの使用 20
タスクバーの機能について 22
Connection Managerの使用 24

3 US110cの設定 27

コントロールパネルの使用 28
日付／時刻 29
画面 30
仮想PC接続でのデュアルディスプレイの利用 34
キーボード 37
LPD 39
新しいLPD設定の作成 39
LPD設定の編集 41
LPD設定の削除 42
LPR 42
モデム 45
マウス 46
ネットワーク 47
ネットワークアダプタの設定 47
ネットワークアダプタのプロパティ 48
オプションの内蔵ワイヤレス機能の設定 51
WEP（Wired Equivalent Privacy）暗号化を使用しない場合 53
WEP（Wired Equivalent Privacy）暗号化を使用する場合 54
802.1x認証を使用する場合 - PEAP-MSCHAPv2 55
802.1x認証を使用する場合 - EAP-TLS 56
SNTP 57
システム 59
ボリューム 61

4 運用・保守 63

クリーニング 64
本体のクリーニング 64
トラブルシューティング 65
複数のシンクライアントを組み合わせて使用する場合のトラブル 65
RDP/ICA/インターネット時刻等の接続でのトラブル 65
プリンタのトラブル 65
仮想PC接続時のトラブル 65
自動ログオン 66
移動と保管 67
ユーザーサポート 68
保証について 68
修理に出される前に 69
修理に出される時は 69
補修用部品について 69
保守サービスについて 70
情報サービスについて 71
付録A　無線LAN仕様一覧 73
付録B　仕　様 74
付録C　保守サービス会社網一覧 75

～Memo～

1 US110cについて

本製品の設置、接続、電源をONにする方法などについて説明します。

各部の名称と機能（→2ページ）

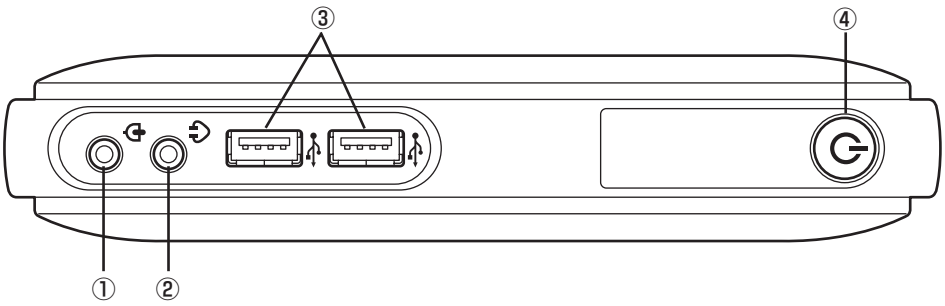
無線LAN機能（→5ページ）

設置（→10ページ）

各部の名称と機能

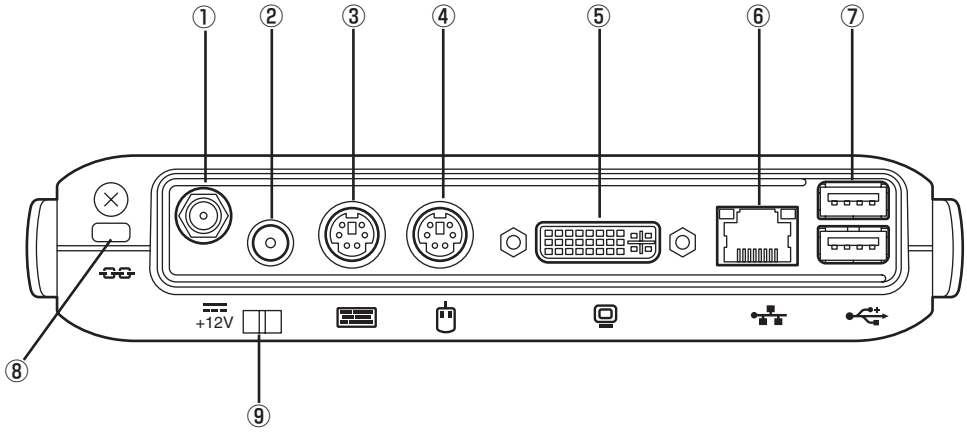
本製品の各部の名称とその機能を次に示します。

装置前面



① マイクコネクタ(→14ページ)
② ラインアウトコネクタ(→14ページ)
③ USBポート(2箇所)(→14ページ)
④ 電源ボタン

装置背面



① 無線LANアンテナコネクタ
② 電源コネクタ
③ キーボード
④ マウス
⑤ DVIコネクタ
⑥ LANコネクタ
⑦ USBポート
⑧ セキュリティ　スロット
⑨ DC電源コード留め具

重要

- キーボードとマウスを逆に接続しないでください。
  逆に接続するとキーボードやマウスが正常に動作しません。
- DC電源コードは必ず留め具にクランプしてください。

無線LANアンテナ

無線LANアンテナは、本製品に設置されている無線装置からの信号を送信し、受信します。

無線LAN付きモデルに同梱されている無線LANアンテナを、本体の無線LANアンテナポートにしっかりと取り付けてください。
良好な送受信が行えるように、アンテナの向きや角度を調整してください。

重要

本製品に設置されている無線装置は、国際的な指針(ICNIRP)が推奨する無線周波数への露出の限界を超えることがないように設計されています。SAR(特定の吸収率)は、エネルギーが体内組織に吸収される率で、高周波の起点(アンテナ)と人体が離れている距離に強く依存します。
無線装置は、人体とアンテナの距離が、少なくとも2、3cmのときにのみ、無線周波の放出の露出についての国際的な指針に適合します。

USB2.0ポート

4つのUSBポートは、USB規格の周辺機器(例えば、プリンタ、DVDドライブ)を本製品に繋ぐことができます。

重要

USBポートは、たとえシステムの電源が切れているときでも、常時、5Vの電源を外部のUSB装置に供給していますので、外部USB装置はシステムのスイッチを入れずに、いつでもUSB装置に充電することができます。

AC電源ポート

本製品に、共に同梱されたACアダプタを使用して、AC電源を付け加えます。

重要

本製品と同梱されたACアダプタと2ピンの電源コードだけを使用してください。他のアダプタや電源コードは同じように見えても、それらを使うとシステムを損傷させるおそれがあります。

無線LAN機能

無線LANによって、離れているコンピュータ同士で、データやプログラムなどを共有したり、メッセージを送受信することができます。

使用上の注意

- 通信速度・通信距離は、無線LAN対応機器や電波環境・障害物・設置環境などの周囲条件によって異なります。
- 電波の性質上、通信距離が離れるに従って通信速度は低下する傾向にあります。より快適にお使いいただくために、無線LAN対応機器同士は近い距離で使用することをおすすめします。
- 電子レンジを使用中に無線LAN（IEEE802.11bまたはIEEE802.11gまたはIEEE802.11n）対応機器の通信速度、通信距離が低下する場合があります。無線LAN（IEEE802.11bまたはIEEE802.11gまたはIEEE802.11n）対応機器と電子レンジは離して使用することをおすすめします。
- 無線LAN（IEEE802.11bまたはIEEE802.11gまたはIEEE802.11n）対応機器とBluetooth™対応機器を同時に使用された場合、それぞれの機器の通信速度や通信距離が低下する場合があります。無線LAN（IEEE802.11bまたはIEEE802.11gまたはIEEE802.11n）対応機器とBluetooth™対応機器はいずれかをオフにするか、離して使用することをおすすめします。
- ネットワークへの接続には、別売の無線LANアクセスポイント（以下アクセスポイント）などが必要です。
- 医療機関側が本製品の使用を禁止した区域では、本製品の電源を切るか無線LAN機能をオフにしてください。また、医療機関側が本製品の使用を認めた区域でも、近くで医療機器が使用されている場合には、本製品の電源を切るか無線LAN機能をオフにしてください。
- ネットワークとの通信中は、本製品を休止状態やスタンバイ状態にしないでください。
- スタンバイ状態または休止状態では、ネットワーク機能がいったん停止しますので、ファイルコピー等の通信動作が終了してからスタンバイ状態または休止状態にしてください。また、使用するアプリケーションによっては、スタンバイ状態または休止状態から復帰した際にデータが失われることがあります。ネットワークを使用するアプリケーションを使う場合には、あらかじめお使いのアプリケーションについてシステム管理者に確認のうえ、スタンバイ状態または休止状態を使用してください。

無線LAN製品ご使用時におけるセキュリティに関するご注意

無線LANでは、LANケーブルを使用するかわりに、電波を利用してパソコン等と無線アクセスポイント間での情報のやりとりを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続が可能であるという利点があります。

その反面、電波はある範囲内であれば障害物（壁等）を超えてすべての場所に届くため、セキュリティに関する設定を行っていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。

- 通信内容を盗み見られる

  悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、

  - IDやパスワードまたはクレジットカード番号等の個人情報
  - メールの内容

  等の通信内容を盗み見られる可能性があります。

- 不正に侵入される

  悪意ある第三者、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、

  - 個人情報や機密情報を取り出す（情報漏洩）
  - 特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す（なりすまし）
  - 傍受した通信内容を書き換えて発信する（改ざん）
  - コンピュータウイルスなどの流しデータやシステムを破壊する（破壊）

  などの行為をされてしまう可能性があります。

本来、無線LANカードや無線アクセスポイントは、これらの問題に対応するためのセキュリティの仕組みを持っていますので、無線LAN製品のセキュリティに関する設定を行って製品を使用することで、その問題が発生する可能性は少なくなります。

セキュリティの設定を行わないで使用した場合の問題を十分理解した上で、お客様自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定を行い、製品を使用することをおすすめします。

セキュリティの設定などについて、お客様ご自身で対処できない場合には、ファーストコンタクトセンターまでお問い合わせください。

セキュリティ対策を施さず、あるいは、無線LANの仕様上やむを得ない事情によりセキュリティの問題が発生してしまった場合、弊社はこれによって生じた損害に対する責任を負いかねます。

本機で設定できるセキュリティ

チェック

- 次のセキュリティについての設定をする場合、使用するアクセスポイントなどもこれらの設定に対応している必要があります。
- これらの設定は危険性をより低くするための手段であり、安全性を100%保証するものではありません。

盗聴(傍受)を防ぐ

本製品の無線LAN機能は「WEP(Wired Equivalent Privacy)機能」に対応しています。WEP機能を使用して暗号キーを設定すると、同じ暗号キーを使用している通信機器間の無線LANの通信データを暗号化できるので、通信を盗聴されたり、関係のないパソコンや機器との接続を防ぐことができます。WEP機能には64ビットWEP対応、128ビットWEP対応、152ビットWEP対応のものがあり、本製品の無線LAN機能は、すべてに対応しています。
ただし、暗号キーを設定していても、暗号キー自体を第三者に知られたり、暗号解読技術によって暗号を解読されたりする可能性があるため、設定した暗号キーは定期的に変更することをおすすめします。

チェック

WEP機能を利用するには、通信する相手の機器もWEP機能に対応している必要があります。

不正アクセスを防ぐ

- アクセスポイントと通信機器の両方に任意のSSID(ネットワーク名)を設定することで、同じSSIDを設定していない通信機器からの接続を回避できます。ただし、第三者にSSIDを自動的に検出する機能を持った機器を使用されると、SSIDを知られてしまいます。これを回避するには、アクセスポイント側でSSIDを通知しないように、SSIDの隠蔽の設定をする必要があります。
- 接続するパソコンなどのMACアドレス(ネットワークカードが持っている固有の番号)をアクセスポイントに登録することで、登録した機器以外はアクセスポイントに接続できなくなります(MACアドレスフィルタリング)。

より高度なセキュリティ設定を行う

Wi-Fi Allianceが提唱するWPA(Wi-Fi Protected Access)機能を利用します。
IEEE802.1X/EAP(Extensible Authentication Protocol)規格によるユーザ認証、従来のWEP機能に比べて大幅に暗号解読が困難とされる暗号方式 TKIP(Temporal Key Integrity Protocol)やAES(Advanced Encryption Standard)を使用することで、より高度なセキュリティ設定を行うことができます。

チェック

WPAによる暗号化を使用するためには、接続する相手の機器も同じセキュリティ機能に対応している必要があります。

無線LANの設定

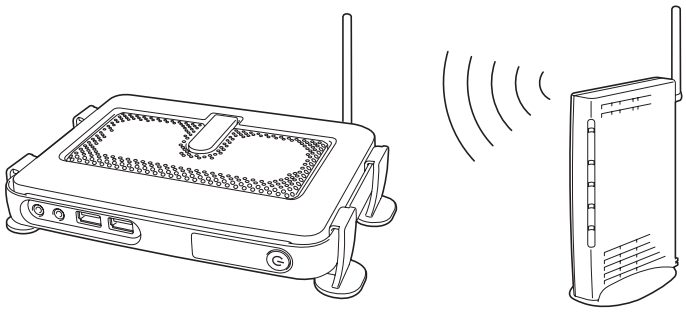
本書の「ワイヤレスネットワーク接続」(88ページ)をご覧になり、設定を行ってください。

無線LAN機能でできること

本製品の無線LAN機能を使用することで、次のようなことができます。

無線LAN対応周辺機器（親機）との無線接続

本製品と無線LANに対応した別売の周辺機器（親機）を使用すると、ケーブルで接続せずにLANを利用することができます。例えば、無線LANに対応したルータやターミナルアダプタなどを利用してインターネットに接続することができます。



設置

本製品の設置の方法について以下に説明します。

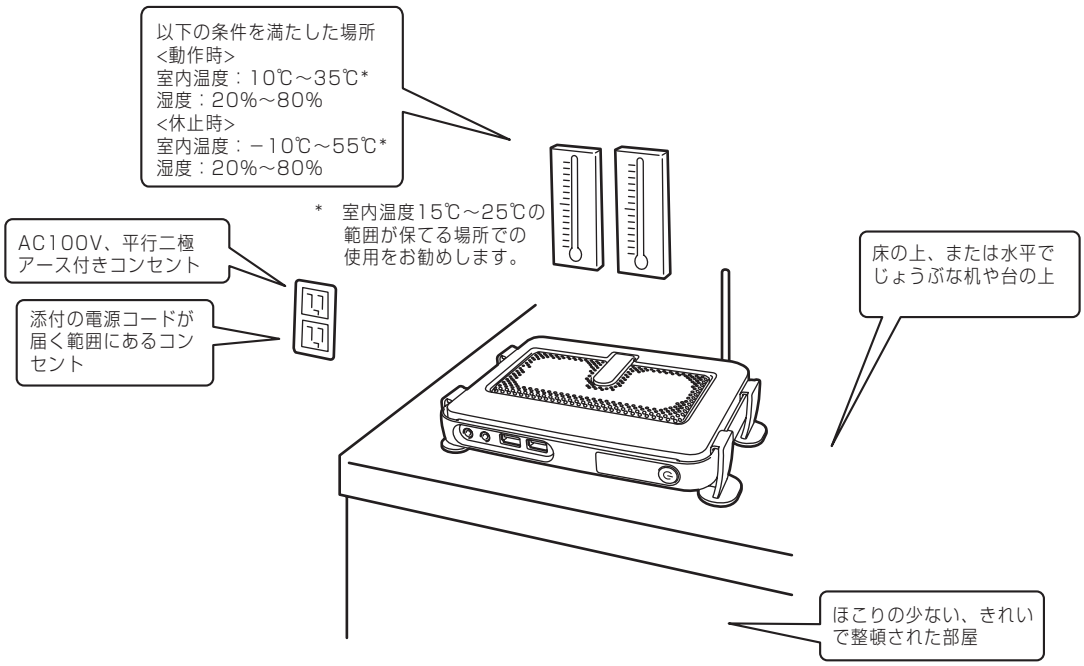
設置

⚠ 注意

本製品を安全にお使いいただくために次の注意事項を必ずお守りください。指示を守らないと、火傷やけがなどを負うおそれや物的損害を負うおそれがあります。詳しくは、iiiページ以降の説明をご覧ください。

- **指定以外の場所に設置しない**

設置にふさわしい場所は次のとおりです。

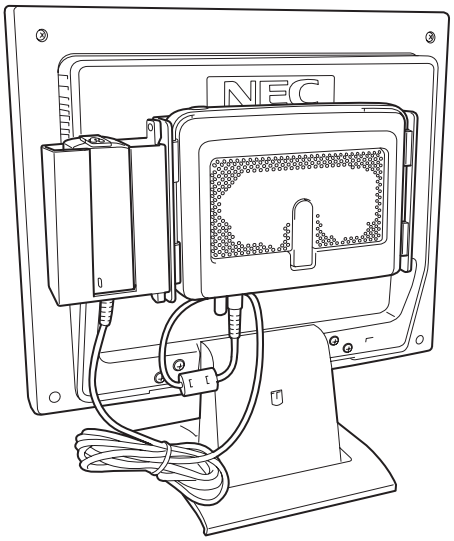


次に示す条件に当てはまるような場所には、本製品を設置しないでください。これらの場所に本製品を設置すると、誤動作の原因となります。

- 温度変化の激しい場所（暖房器、エアコン、冷蔵庫などの近く）。
- 強い振動の発生する場所。
- 腐食性ガスの発生する場所（大気中に硫黄の蒸気が発生する環境下など）、薬品類の近くや薬品類がかかるおそれのある場所。
- 帯電防止加工が施されていないじゅうたんを敷いた場所。
- 物の落下が考えられる場所。
- 電源コードまたはインタフェースケーブルを足で踏んだり、引っ掛けたりするおそれのある場所。
- 強い磁界を発生させるもの（テレビ、ラジオ、放送/通信用アンテナ、送電線、電磁クレーンなど）の近く（やむを得ない場合は、保守サービス会社に連絡してシールド工事などを行ってください）。
- 本体の電源コードを他の接地線（特に大電力を消費する装置など）と共用しているコンセントに接続しなければならない場所。
- 電源ノイズ（商用電源をリレーなどでON/OFFする場合の接点スパークなど）を発生する装置の近くには設置しないでください。（電源ノイズを発生する装置の近くに設置するときは電源配線の分離やノイズフィルタの取り付けなどを保守サービス会社に連絡して行ってください。）

N8120−106 LCD取り付けブラケット(オプション)を使用した設置

N8120-106 LCD取り付けブラケットを使用した設置方法の詳細については、
N8120-106 LCD取り付けブラケットに添付の取扱説明書をご覧ください。



LCD取り付けブラケットを使用して本製品をLCD背面に設置した場合

重要

DC電源コードは必ず留め具にクランプしてください。

接続

本製品をネットワークに接続します。
ネットワークケーブルを接続してから添付のACアダプタの電源コードを本製品に接続し、電源プラグをコンセントに接続します。

※ ただし、初回電源投入時は、US110cにネットワークケーブルを接続しないでください。
ネットワークケーブルを接続した状態で初回電源投入時に表示されるセットアップウィザードを使用しUS110cの基本設定を行うと、コントロールパネルからの設定変更後に画面の表示がくずれる場合があります。画面がくずれる現象が発生した場合は、管理者ガイドの[キーボードの「G」キーによるリセット機能を使用する]の項を参照し、US110cを工場出荷時状態に戻し、ネットワークケーブルを接続しない状態で管理者ガイドの[セットアップウィザードの使用]の項を参照し、US110cの基本設定を行ってください。

⚠警告

本製品を安全にお使いいただくために次の注意事項を必ずお守りください。指示を守らないと、人が死亡する、または重傷を負うおそれがあります。詳しくは、iiiページ以降の説明をご覧ください。

- **ぬれた手で電源プラグを持たない**

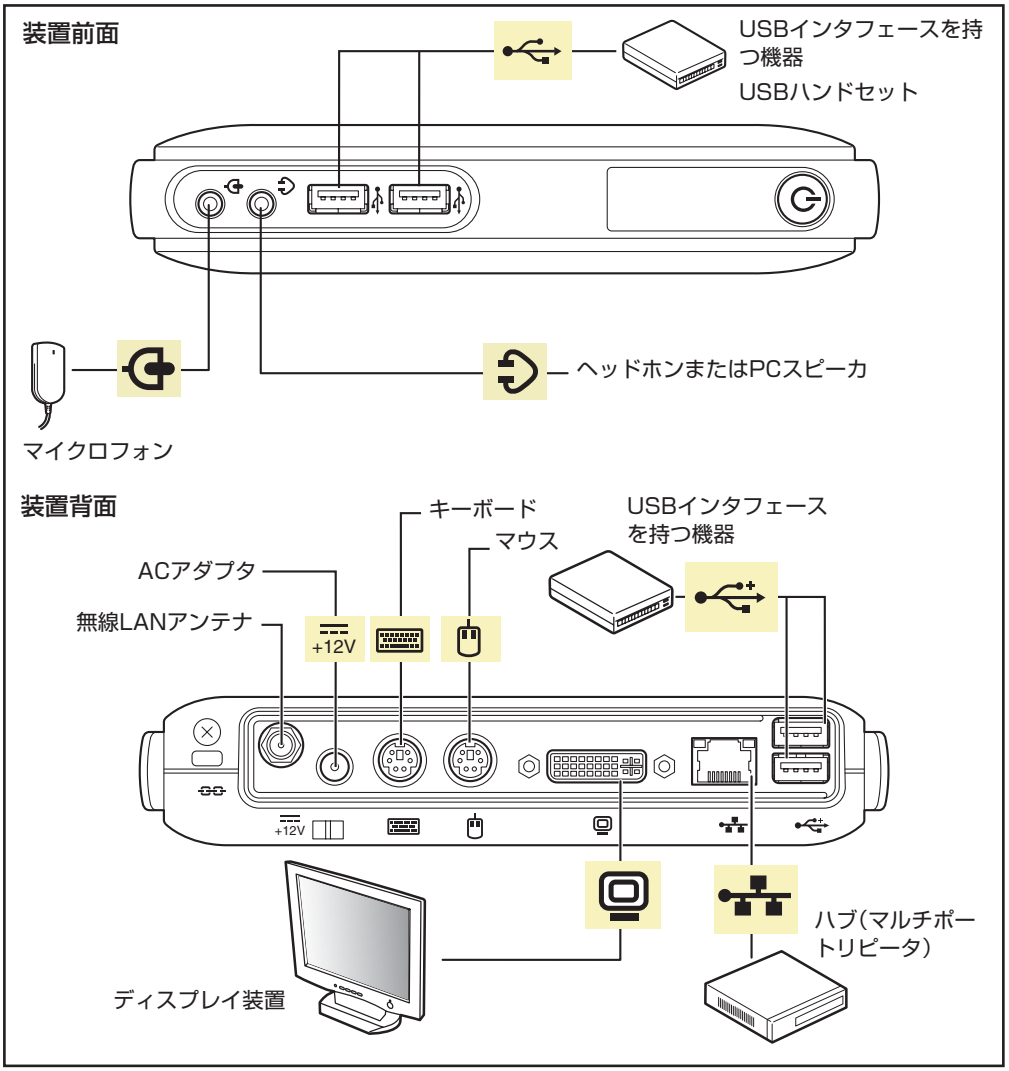
⚠注意

本製品を安全にお使いいただくために次の注意事項を必ずお守りください。指示を守らないと、火傷やけがなどを負うおそれや物的損害を負うおそれがあります。詳しくは、iiiページ以降の説明をご覧ください。

- **指定以外のコンセントに差し込まない**
- **たこ足配線にしない**
- **中途半端に差し込まない**
- **指定以外の電源コードを使わない**
- **プラグを差し込んだままインタフェースケーブルの取り付けや取り外しをしない**
- **指定以外のインタフェースケーブルを使用しない**

重要

- 本製品および接続する周辺機器の電源をOFFにしてから接続してください。ONの状態のまま接続すると誤動作や故障の原因となります。
- サードパーティの周辺機器およびインタフェースケーブルを接続する場合は、お買い求めの販売店でそれらの装置が本製品で使用できることをあらかじめ確認してください。サードパーティの装置の中には本製品で使用できないものがあります。サードパーティの周辺機器、またはNECが認定していない装置やインタフェースケーブルを使用したために起きた本製品の故障については、その責任を負いかねますのでご了承ください。
- LANコネクタに接続したケーブルを抜くときは、コネクタのツメが手では押しにくくなっているため、マイナスドライバなどを使用してツメを押して抜いてください。その際に、マイナスドライバなどがLANコネクタやその他のコネクタを破損しないよう十分に注意してください。



2 導入

この章では、US110cを使用する際の基本的な設定を説明します。US110cの基本機能を説明し、デスクトップとConnection Managerを使用して使用可能な接続およびアプリケーションを使用する手順を紹介しています。

電源投入時の処理（→16ページ）

デスクトップとConnection Managerについて（→20ページ）

電源投入時の処理

US110cに電源を入れたときやUS110cを再起動したときに最初に表示される内容は、企業イントラネットへのアクセス方法や、ネットワーク管理者がアカウントをどのように設定しているかによって異なります。Wake-On-LAN機能を使用してUS110cの電源を入れることもできます。この機能を使用すると、管理者はUS110c接続をリモートでオンにできます。

ログオン

US110cにログオンするために(管理者がユーザーに提供する)ユーザー名とパスワードが必要な場合と、起動時に自動的にUS110cにログオンする場合があります。ログオン後は、本ガイド[デスクトップとConnection Managerについて]の項で説明されているようにデスクトップが表示されるか、または本ガイド[Connection Managerの使用]で説明されているように Connection Manager が表示されます(設定によっては、アプリケーションまたは接続が自動的に開始される場合もあります)。

チェック

DHCPサーバーからIPアドレスを取得するようにUS110cが設定されている場合は、US110cがネットワークサービスを待って待機していることを示すメッセージが表示されます。

US110cの電源投入時または再起動時(またはログオフ後)に「ターミナルログオン」ダイアログボックスが表示されるようにUS110cを設定している場合は、[ユーザー名]と[パスワード]を入力してUS110cにログオンできます(管理者により設定されている場合は、[パスワードを変更する]チェックボックスを使用して「ターミナルログオン - パスワード変更」ダイアログボックスを開いて使用することもできます)。

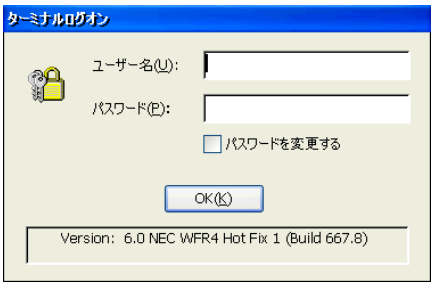


図2-1　ターミナルログオン

US110cの電源投入時または再起動時(またはログオフ後)に「シングルボタンコネクト」ダイアログボックスが表示されるようにUS110cを設定している場合は、[接続]をクリックしてUS110cに自動的にログオンできます(管理者により設定されている場合は、この機能によりログオン時に自動的に接続が開始されます)。

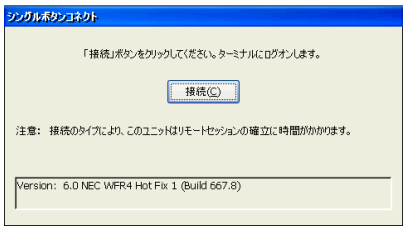


図2-2　シングルボタンコネクト

US110cの電源投入時または再起動時（またはログオフ後）に「オートログオン」ダイアログボックスが表示されるようにUS110cを設定している場合は、自動ログオン機能がUS110cにログオンするまで待機します。

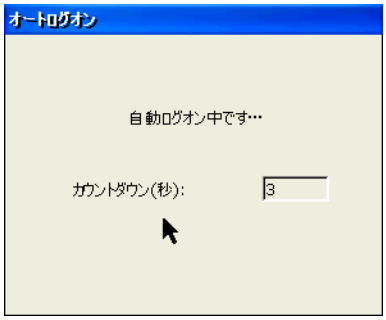


図2-3　オートログオンのカウントダウン

割り当てられている権限の確認

US110cユーザーは、管理者が指定する特定の権限を持つUS110cアカウントを使用します。US110cアカウントには、特定の接続機能、セキュリティ、各種US110c機能、およびUS110cリソースへの特定のアクセスレベルが含まれます。

ユーザー権限レベルには、以下の3つのタイプがあります。

- **管理者**

  管理者権限レベルのユーザーは、US110cのすべての機能を使用できます。たとえば、ユーザーアカウントと各ユーザーアカウントで使用できる接続を設定および管理することができます。

- **ユーザー**

  ユーザー権限レベルのユーザーは、(管理者が指定した)限られたUS110c機能を使用できます。

- **ゲスト**

  ゲスト権限レベルのユーザーは、(管理者が指定した)最低限のUS110c機能を使用できます。

使用するセッションサービスについて

管理者の設定によっては、デスクトップとConnection Managerを使用してサービスやアプリケーションへの接続を開始できます。設定されている場合、複数セッション機能により、同時に複数のアクティブな接続(または、同じICAまたはRDP接続の複数のインスタンス)を使用できます。アクティブな接続の数は、以下の項目に左右されます。

- **RAMの容量**
- **開いている接続の種類**
- **管理者が使用を許可している接続の数**

1つのICAまたはRDP接続の複数のインスタンスは、シームレスウィンドウ接続として設定されている公開アプリケーションまたはPNAgent対応セッション向けにサポートされています。

ログオフ、シャットダウン、および再起動

US110cを使用した後は、(ユーザーの権限によっては)アカウントからログオフし(最初にログオンしている場合)、US110cをシャットダウンすることや再起動することができます。

Windowsデスクトップで[スタート]→[シャットダウン]をクリックするか、Connection Managerで[シャットダウン]をクリックすると、「Windowsのシャットダウン」が表示されます。このウィンドウを使用すると、必要な[ログオフ]、[シャットダウン]、または[再起動]オプションを選択できます。管理者がセキュリティにて[セキュリティを有効にする]を設定している場合は、すべてのユーザー権限レベル(管理者権限レベル、ユーザー権限レベル、ゲスト権限レベル)でログオフを実行できます。

チェック 自動ログオン機能を有効にした状態でログオフまたは再起動を実行した場合は、US110cに自動的にログオンします。

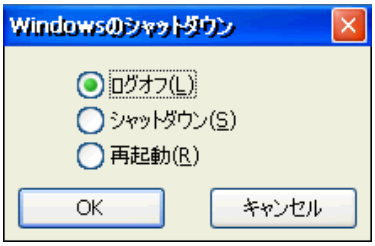


図2-4　Windowsのシャットダウン

チェック US110cをログオフ、シャットダウンしても、接続中のセッションが終了しない場合があります。一般的には、US110cをログオフ、シャットダウンする前には接続中のセッションをログオフすることをお勧めします。

デスクトップとConnection Managerについて

デスクトップまたはConnection Managerのいずれを使用している場合も、使用できるすべての機能は管理者が行った設定によって決まります。

デスクトップの使用

管理者の設定によっては、接続、アプリケーション、アイコン、タスクバー、[スタート]メニューなどの関連機能を含むWindowsデスクトップが提供される場合があります。デスクトップでは、接続を簡単に確立し、管理者によって各アカウントユーザーに提供されている各種アプリケーションと機能を使用できます。

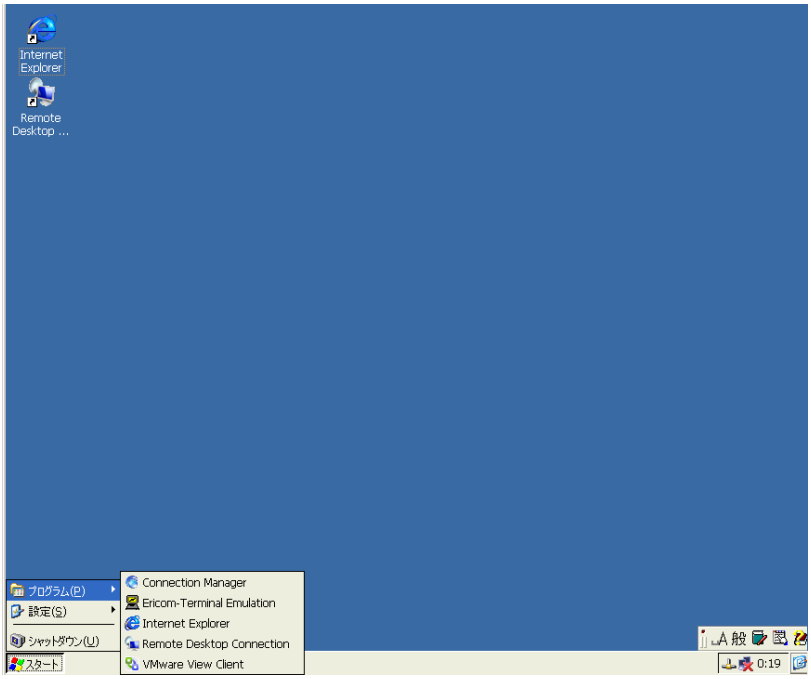


図2-5　ユーザーデスクトップの例

チェック

[スタート]メニューでは、管理者が使用を許可するすべてのプログラムと設定にすばやく簡単にアクセスすることや、US110cをシャットダウンすることができます。

以下の一般的なガイドラインに従ってください。

- 〔スタート〕メニューでは、使用可能なすべてのプログラムと設定にすばやく簡単にアクセスし、US110cをシャットダウンすることができます。たとえば、コントロールパネルを開くには、〔スタート〕→〔設定〕→〔コントロール パネル〕をクリックします。コントロールパネルについては、本ガイド〔コントロールパネルの使用〕の項を参照してください。
- デスクトップを右クリックすると、各種選択項目を含むデスクトップメニューが表示されます。たとえば、デスクトップを右クリックして表示されるメニューを使用すると、デスクトップアイコンを名前や種類などで簡単に整理できます。
- 接続を開始するには、接続アイコンをダブルクリックするか、接続アイコンを右クリックして〔開く〕を選択します。
- アプリケーションを起動するには、アプリケーションアイコンをダブルクリックするか、アプリケーションアイコンを右クリックして〔開く〕を選択するか、〔スタート〕メニューを使用します。
- コントロールパネル内のアプリケーションを起動するには、コントロールパネルを開いてアプリケーションアイコンをダブルクリックします。
- タスクバーを使用するか、ALT+TABキーを使用すると、アクティブな接続とアプリケーションを切り替えることができます。

タスクバーの機能について

タスクバーは、以下のような重要な機能を提供します。

- **タスクバーの切り替えのサポート**

  必要な接続をクリックすることにより、タスクバーで最小化されているアクティブな接続間の切り替えを簡単に行うことができます。

- **タスクマネージャ**

  タスクバーの空いているエリアを右クリックし、[タスクマネージャ]を選択すると、「タスクマネージャ」ダイアログボックスが表示されます。このダイアログボックスでは、起動中のアプリケーション(タスク)を選択して切り替えることや、終了することができます。

- **タスクバーと[スタート]メニューのプロパティ**

  タスクバーの空いているエリアを右クリックし、[プロパティ]を選択すると、「タスクバーと[スタート]メニューのプロパティ」ダイアログボックスが表示されます([スタート]→[設定]→[タスクバーと[スタート]メニュー]をクリックすることもできます)。このダイアログボックスを使用すると、タスクバーをカスタマイズできます。

チェック Guest権限レベルのユーザーの場合、[プロパティ]はグレーアウトされています。

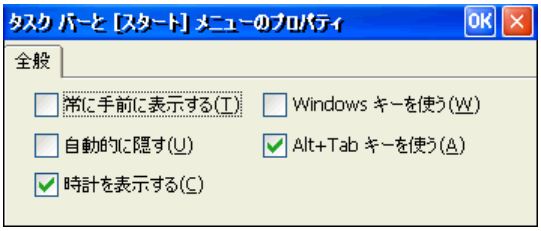


図2-6　タスクバーと[スタート]メニューのプロパティ

以下のガイドラインに従ってください。

- **常に手前に表示する**

  開いているすべてのウィンドウの上にタスクバーを表示する場合に選択します。

- **自動的に隠す**

  マウスポインターがタスクバーエリア上にない場合はタスクバーを自動的に非表示にする場合に選択します。

- **時計を表示する**

  タスクバーの右端に現在の時刻を表示する場合に選択します。

- **Windows キーを使う**

  US110cでWindowsキーをローカルで使用する場合に選択します。たとえば、ICAまたはRDP接続中にWindowsキーを押すと、(接続先の仮想PCの「スタート」メニューではなく)US110cの[スタート]メニューが開きます。

- **Alt+Tab キーを使う**

  ALT+TABキーを使用してアクティブなローカルアプリケーションと接続を切り替える場合に選択します（たとえば、ICAまたはRDP接続中にALT+TABキーを使用すると、ICAまたはRDP接続内で開かれているアプリケーションではなく、US110cのアクティブなローカル接続間の切り替えが行われます）。[Alt+Tab キーを使う]オプションの選択を解除している場合、ALT+TABキーを使用すると、1つのアクティブなICAまたはRDP接続内で開かれている複数のアプリケーションが切り替えられます。CTRL+ALT+UP矢印およびCTRL+ALT+DOWN矢印を使用して、アクティブなローカルアプリケーションと接続を切り替えることもできます。Connection Managerが開かれている場合は、CTRL+ALT+ENDを使用してConnection Managerを前面に表示することもできます。

Connection Managerの使用

[Connection Manager]は管理者の設定によっては、アプリケーションサーバーと自動接続を開始したり、[コントロールパネル]、[シャットダウン]等の機能を利用することができます。

チェック 使用できる機能は、管理者の設定によって異なります。

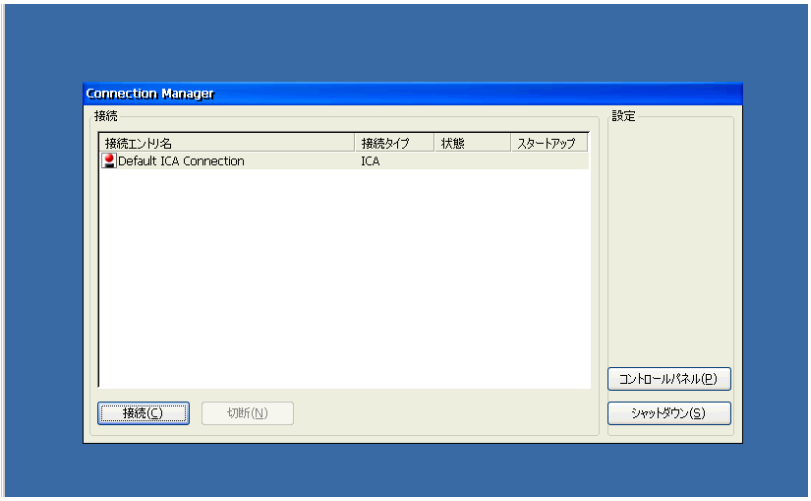


図2-7　Connection Managerの例

以下のガイドラインに従ってください。

- **コントロールパネル**

  使用可能なアプリケーションを含むコントロールパネルを開きます。コントロールパネルについては、本ガイド[コントロールパネルの使用]の項を参照してください。

- **接続**

  接続を開始するには、接続エントリを選択して[接続]をクリックします。

  接続エントリをダブルクリックすることでも接続が開始されます。

- **切断**

  接続を終了するには、接続中の接続エントリを選択して[切断]をクリックします。

  ※[切断]は1つ以上の接続がアクティブな状態の場合のみ有効です。

- **ショートカット**

  (表示されている場合)デスクトップ上に接続用のショートカットアイコンを作成できる「デスクトップのショートカットを作成」ダイアログボックスを開きます。

- **閉じる**

  (表示されている場合)Connection Managerを終了します。

- **シャットダウン**

  (表示されている場合)「Windowsのシャットダウン」を開きます(このウィンドウを使用すると、[ログオフ]、[シャットダウン]、または[再起動]オプションを選択できます)。

チェック 自動ログオン機能を有効にした状態でログアウトまたは再起動を実行した場合は、US110cに自動的にログオンします。

～Memo～

3 US110cの設定

この章では、コントロールパネル内のアプリケーションを使用してUS110cを設定するために役立つ情報を説明しています。

コントロールパネルの使用（→28ページ）

コントロールパネルの使用

コントロールパネルには、US110cの設定に使用できるアプリケーションを開くためのアイコンが表示されています。アプリケーションのデフォルト設定は管理者によって設定されますが、権限によってはユーザーが選択設定をリセットできる場合もあります。コントロールパネルは、デスクトップ（[スタート]→[設定]→[コントロールパネル]をクリック）またはConnection Manage（[コントロールパネル]をクリック）から開くことができます。

チェック

コントロールパネルには、このセクションの説明と異なるアイコンや機能が含まれている場合もあります。インストールされているアドオンに関しては、管理者にお問い合わせください。

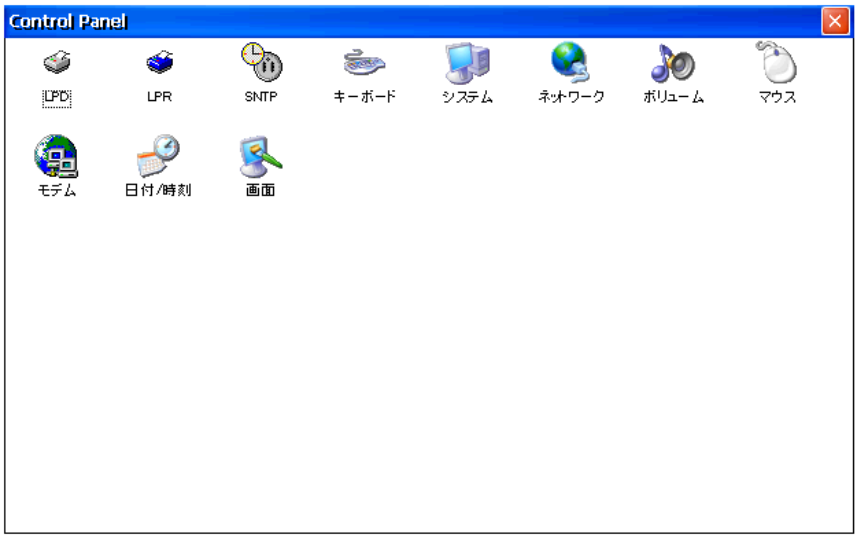


図3-1　[コントロールパネル] - ユーザー権限の例

このセクションでは、以下のアイコンについて説明します（管理者および適切な権限を持つ管理者以外のユーザーが使用できる他の[コントロールパネル]アイコンについては、『US110cアドミニストレーターズガイド』を参照してください）。

- 「日付／時刻」
- 「画面」
- 「キーボード」
- 「LPD」
- 「LPR」
- 「モデム」
- 「マウス」
- 「ネットワーク」
- 「SNTP」
- 「システム」
- 「ボリューム」

日付／時刻

コントロールパネルの[日付 /時刻]アイコンをダブルクリックすると、[日付 / 時刻のプロパティ]ダイアログボックスが表示されます(ゲスト権限レベルのユーザーは、この機能を使用できません)。このダイアログボックスを使用すると、US110cで日付と時刻を設定できます。

チェック

タイムサーバーを使用できる場合は、サーバーによって提供される時間に自動的に同期するようにUS110cを設定できます。設定方法については本ガイド[SNTP]を参照ください。

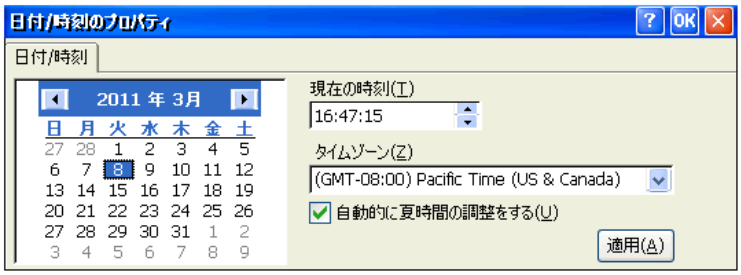


図3-2　日付/時刻のプロパティ

以下のガイドラインに従ってください。

- (現在の月を探すために)カレンダーの[進む]ボタンと[戻る]ボタンを使用した後で現在の日を選択して、現在の日付を設定します。
- [現在の時刻]を手動で設定するには、[現在の時刻]で実際の時刻より少し先の時刻を入力または選択し、実際の時刻が設定時刻になった瞬間に[適用]をクリックします。
- [タイムゾーン]を手動で設定するには、一覧からタイムゾーンを選択します。
- サマータイムに合わせて時間を自動調整する場合は[自動的に夏時間の調整をする]チェックボックスを選択し、自動調整をしない場合は選択を解除します。

画面

コントロールパネルの[画面]アイコンをダブルクリックすると、「画面のプロパティ」ダイアログボックスが表示されます。このダイアログボックスを使用すると、使用中のモニターおよびその他の表示設定オプションでサポートされているモニター画面設定を選択できます。

チェック Microsoft RDP 6.0は、Windows CEを実行するUS110cについて、4096 x 2048ピクセルの最大総解像度をサポートしています。

[背景]タブ

US110cの壁紙を設定できます。

図3-3　[背景]タブ

- **模様**

  模様リストからUS110c壁紙に使用する画像を選択します。

- **参照**

  US110c壁紙に使用する画像を任意の場所から選択することが出来ます。

- **背景を並べて表示**

  チェックすると画面全体に模様が並びます。

[表示]タブ

US110cのウィンドウや文字などの色を設定できます。

図3-4　[表示]タブ

- **配色**

  ウィンドウやウィンドウの文字などの色を配色リストから選択します。

- **[登録]ボタン**

  配色に名前をつけて登録します。([OK]ボタンをクリックしなくても登録操作は 確　定します。)

- **[削除]ボタン**

  配色を削除します。([適用]ボタンまたは[OK]ボタンをクリックしなければ削除操作は確定しません。)
  ただし、「Windows Standard」は既定の設定なので削除できません。

- **[適用]ボタン**

  選択されている配色を適用します。また、削除操作を確定します。

- **指定する部分**

  配色を表示または指定する部分をリストから選択します。色のついたボタンをクリックすると色パレットが起動します。

図3-5　色パレット

基本色パレットに希望の色があれば、選択し[OK]ボタンをクリックします。色つきボタンがその選択に対応して色が変化します。希望する色がなければ、パレットの下にある[色>>]ボタンをクリックします。

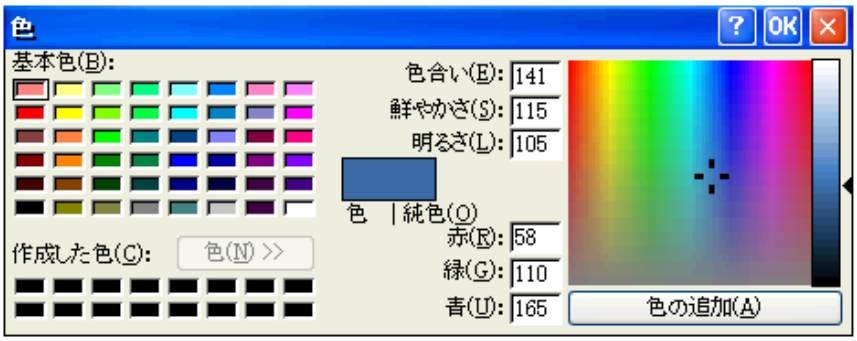


図3-6　色の追加パレット

[スクリーンセーバー]タブ
US110cのスクリーンセーバーの設定ができます。

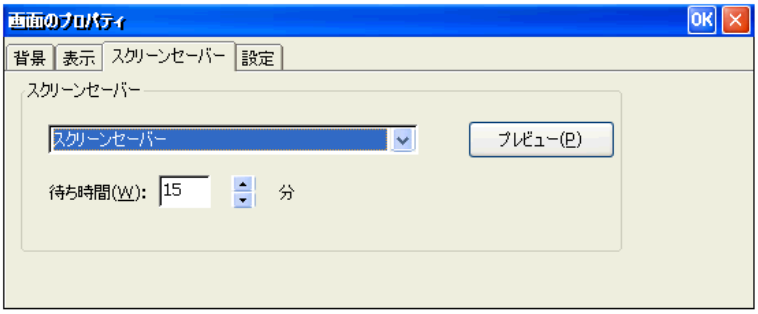


図3-7　[スクリーンセーバー]タブ

- **スクリーンセーバー**
  リストから「スクリーンセーバー」か「モニターの電源を切る」を選択します。〔なし〕を選択した場合はスクリーンセーバーは無効になります。
- **[プレビュー]ボタン**
  選択したスクリーンセーバーのプレビュー画面を確認できます。
- **待ち時間**
  US110cがスクリーンセーバーに移行するまでの待ち時間を設定します。

[設定]タブ
US110cの画面の設定ができます。

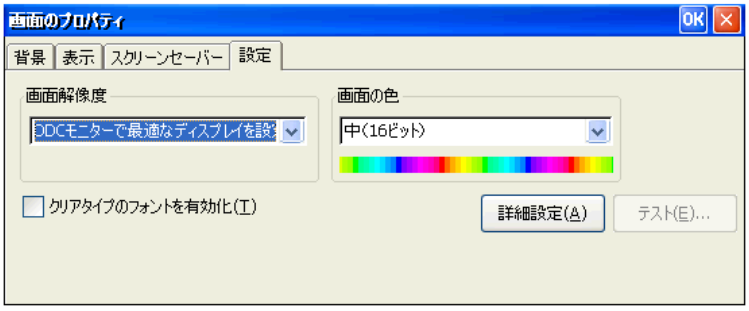


図3-8　[設定]タブ画面

- **画面解像度**
  US110cの画面解像度を選択します。
- **画面の色**
  US110cの画面の色を選択します。

- **「クリアタイプのフォントを有効化」チェックボックス**

  US110cでクリアタイプフォントを有効にする場合はチェックします。

- **[詳細設定]ボタン**

  US110cの画面の詳細設定をする場合にクリックします。

- **[テスト]ボタン**

  選択した画面の解像度と画面の色でディスプレイの出力のテストを行う場合にクリックします。クリックすると、「テストモード」ダイアログが表示されますのでテストを行う場合は、[はい]ボタン、テストをキャンセルする場合は[キャンセル]ボタンをクリックしてください。テストを行うとディスプレイに白黒の格子模様が約5秒間表示されます。

チェック

スクリーンセーバー、画面設定にて設定を変更して、[OK]ボタンをクリック後新しい設定を有効にするためにUS110cを再起動してください。
設定を変更後、コントロールパネル終了時に再起動メッセージが表示されます。

[ディスプレイデバイス]画面

US110cの画面の詳細設定を設定できます。

図3-9　ディスプレイデバイス

- **ディスプレイデバイスを選択します**

  一覧から使用する環境に合わせたディスプレイデバイスオプションを選択します。

  (「CRT+DVI」または「DVI+CRT」を選択時は、必ず正しいプライマリおよびセカンダリディスプレイを選択してください。)

- **「ディスクトップウィンドウを拡張する」チェックボックス**

  画面の項目を別のモニターにドラッグすることや、ウィンドウのサイズを変更して複数のモニターに広げることができます。

仮想PC接続でのデュアルディスプレイの利用

US110cの仮想PC接続において、デュアルディスプレイを利用する方法を記載します。

重要

- **プライマリディスプレイとセカンダリディスプレイの解像度の設定が異なる場合、リモートデスクトップのデュアルディスプレイは表示できません。**
- **US110cでデュアルディスプレイを行うには、VGAとDVI-Iのデジタル出力ができる接続ケーブルが必要です。**

仮想PC接続をデュアルディスプレイモードで使用する場合は、以下の手順で仮想PCに接続します。

1. US110cにVGAとDVI-Iのデジタル出力ができる接続ケーブルを接続する。
2. US110cにプライマリディスプレイとセカンダリディスプレイを接続する。
3. US110cを起動する。
4. 「スタート」→「コントロールパネル」→「画面」を起動する。
5. 「設定」タブ画面で使用する環境に合わせて画面の解像度、画面の色を選択する。
   ※ プライマリディスプレイ、セカンダリディスプレイで対応している最大解像度が違う場合は、最大解像度が低い方のディスプレイに画面の解像度を合わせます。）
6. [詳細設定]ボタンをクリックする。

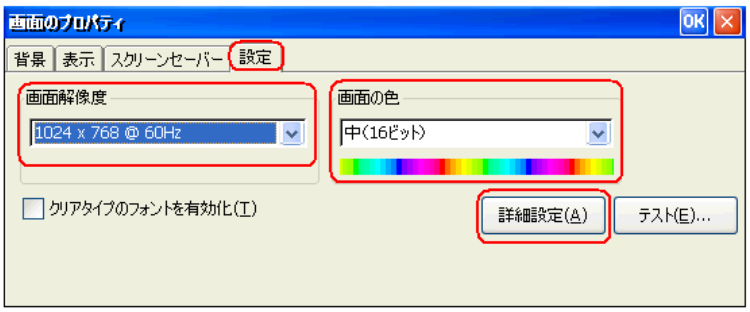


図3-10　デュアルディスプレイ設定1

7. 「ディスプレイデバイスを選択します」にて使用する環境に合わせてデバイスを選択する。
   ※ [CRT + DVI]を選択すると、プライマリディスプレイがVGA接続しているディスプレイに設定されます。[DVI + CRT]を選択すると、プライマリディスプレイがDVI-I接続しているディスプレイに設定されます。）
8. 「ディスクトップウィンドウを拡張する」にチェックを入れる。

9. [OK]ボタンをクリックする。

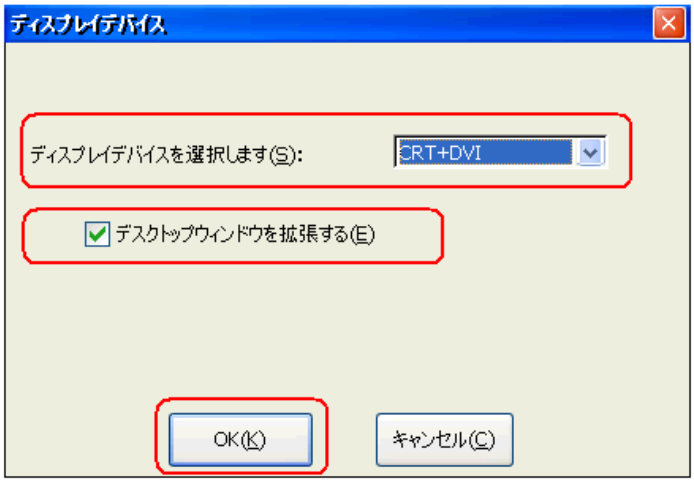


図3-11　デュアルディスプレイ設定2

10. 「画面のプロパティ」ダイアログの[OK]ボタンをクリックする。

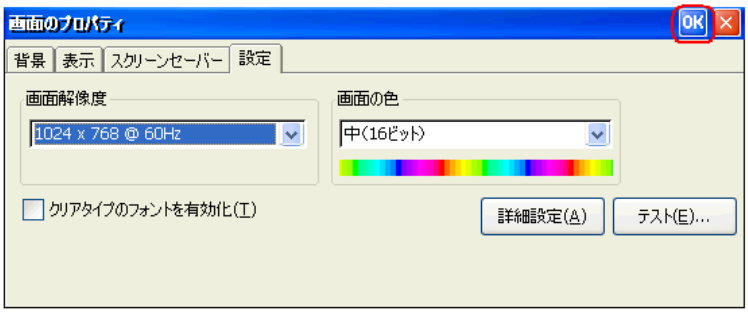


図3-12　デュアルディスプレイ設定3

11. US110cを再起動する。

12. 「スタート」→「プログラム」→「Remote Desktop Connection」を起動する。

13. 「画面」タブの「ディスプレイをマルチモニタにスパンする」にチェックを入れる。

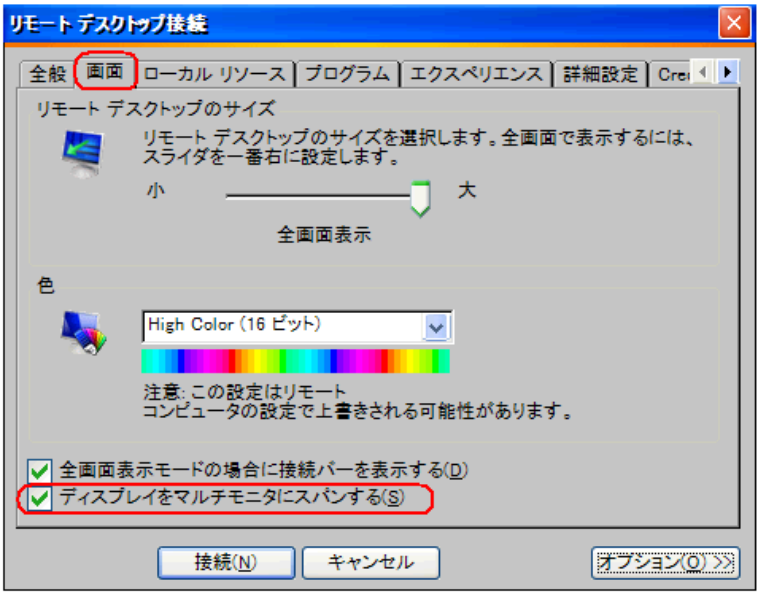


図3-13　デュアルディスプレイ設定4

14. コンピュータ名などの必要な情報を入力し、仮想PCへ接続する。

キーボード

コントロールパネルの[キーボード] アイコンをダブルクリックすると、「キーボードのプロパティ」ダイアログボックスが表示されます。このダイアログボックスを使用すると、キーボードの言語を選択し、その他のキーボードオプションを設定することができます。

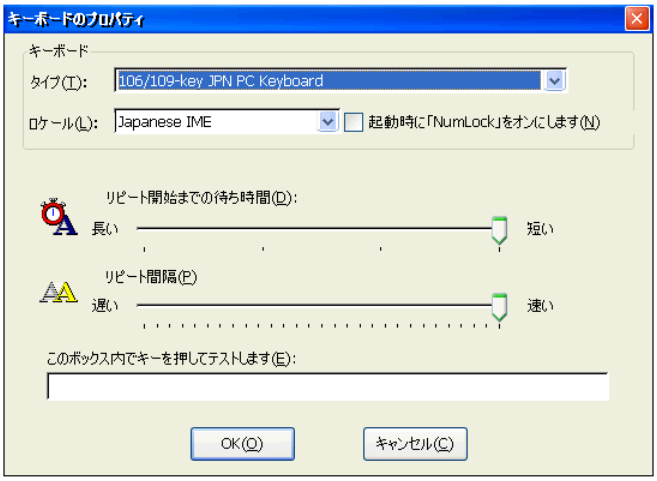


図3-14　キーボードのプロパティ

以下のガイドラインに従ってください。

- **[キーボード]エリア：**
  - **タイプ**
    サポートされているキーボードの一覧からキーボードの種類を選択します。
  - **ロケール**
    表1に示されているキーボードのサポート言語のいずれかを選択します。

表1　キーボードのサポート言語

キーボードのサポート言語	
アラビア語(101)	ハンガリー語
アラビア語(102)	イタリア語
アラビア語(102)アゼルティ	イタリア語(142)
ベルギーオランダ語	日本語
ベルギーフランス語	韓国語
ブラジルポルトガル語(ABNT)	中南米スペイン語
カナダフランス語	ノルウェー語
カナダフランス語(旧)	ポーランド語(214)
カナダマルチスタンダード	ポーランド語(プログラマ)
簡体中国語 - USキーボード	ポルトガル語
繁体中国語 - USキーボード	ルーマニア語

クロアチア語	ロシア語
チェコ語	スロバキア語
デンマーク語	スロバキア語
オランダ語	スペイン語
英語(英)	スペイン語バリエーション
英語(米)	スウェーデン語
フィンランド語	スイスフランス語
フランス語	スイスドイツ語
ドイツ語	トルコ語F
ギリシャ語	トルコ語Q
ヘブライ語	英語(International)
英語(オーストラリア)	英語(ニュージーランド)
ドイツ(IBM)	

チェック 英語(米)以外のすべての言語では、IEPCキーボードが必要です。キーボードのレイアウトは、表内の言語ごとに異なります。

- **起動時に「NumLock」をオンにします**

  US110c起動時に数字キーボードをアクティブにする場合に選択します。

- **リピート開始までの待ち時間**

  リピート開始までの待ち時間を設定します。リピート開始までの待ち時間が短ければ、キーを押し始めてからの時間が短くても連続入力が開始されます。ボックス内でテストしながら調節します。

- **リピート間隔**

  リピート間隔を設定します。リピート間隔が短ければ、短い押し時間で同じ文字が多く連続入力されます。ボックス内でテストしながら調節します。

LPD

本機能は、現在未サポートです。

US110cを設定すると、Line Printer Daemon(LPD)サービスを提供できます(US110cを1つ以上のクライアントから印刷ジョブを受信し、これらのジョブを指定の物理ポートにスプールするプリンタサーバーにします)。LPDサーバーは、LPRクライアントから指定されたラインプリンタキューに送信された印刷ジョブを受信し、指定されたプリンタで印刷します。LPRについては、「LPR設定の実行」を参照してください。

チェック LPDサービス自体は機能するために静的IPアドレスが必要なわけではありません。しかし、LPDサーバーのIPアドレスが変更された場合にLPRクライアントを再設定しなくてすむように、LPDサーバー(US110c)に静的IPアドレスを割り当てることをお勧めします。LPDサーバー(US110c)の静的IPアドレスを指定するためには、「ネットワークアダプタの設定」で説明されているように「設定」ダイアログボックスを使用します。

コントロールパネルの[LPD]アイコンをダブルクリックすると、「LPDの構成」ダイアログボックスが表示されます。このダイアログボックスを使用すると、LPDサーバーを選択および設定することができます。「LPDの構成」ダイアログボックスでは、接続を作成(「新しいLPD設定の作成」を参照)、変更(「LPD設定の編集」を参照)、または削除(「LPD設定の削除」を参照)できます。

チェック 「LPDの構成」ダイアログボックスのすべてのボックスとオプションは、LPDサーバーが管理するすべての印刷キュー設定に共通の値を定義します。

新しいLPD設定の作成

新しい印刷キュー設定を作成する手順は以下のとおりです。

1. コントロールパネルの[LPD]をダブルクリックし、「LPDの構成」ダイアログボックスを開きます。

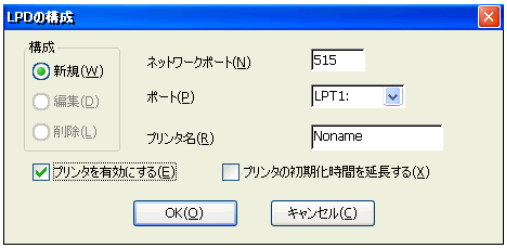


図3-15　LPD - LPD設定の作成

2. [新規]を選択します。

チェック 印刷に使用できる物理ポートがない場合、[新規]オプションは無効です。

3. 以下のガイドラインに従います(設定後は、必ず[OK]をクリックしてください)。

チェック

初期段階では、LPDサーバーは無効です。[プリンタを有効にする]、[OK]、および[キャンセル]以外のすべてのボックスとオプションが無効になっています。LPDサーバーを有効にするには、[プリンタを有効にする]を選択します。サーバーを最初に有効にした後は、リブートが必要です。
同様に、[プリンタを有効にする]の選択を解除してサーバーを無効にする場合も、リブートが必要です。

- [プリンタ名]に新しい印刷キューの名前を入力し、[ポート]で出力ポートを選択します。さらに、現在の設定と既存の設定のニーズに合わせてグローバル設定の[ネットワークポート]と[プリンタの初期化時間を延長する]を変更することができます。
- [ネットワークポート]は、LPDサーバーがLPRクライアントからの印刷ジョブをリスンするポートの値を設定するために使用します。デフォルトでは、LPDサーバーはポート515でリッスンします。LPRクライアントがデフォルトのポート値以外のポートで印刷ジョブを送信する場合を除き、この値を変更する必要はありません。
- [ポート]は、プリンタが接続され、サーバーが印刷ジョブを送信する物理ポートの値です。
- [プリンタ名]は、サーバーがLPRクライアントから印刷ジョブを受信する印刷キューを実際に示します。実際のプリンタ名は、印刷キュー名に一致しない場合があります。この名前は大文字と小文字が区別される必須項目です。LPDサーバーは、複数の印刷キューを管理できます。各キューには、[ポート]によって指定される一意の物理ポートが割り当てられます。このキュー名と物理ポートの1対1の対応関係により、LPDは印刷ジョブを指定のプリンタに簡単にルーティングできます。指定されている各キューで複数の物理ポートを使用することを妨げる基本的な制限はありません。ただし、指定されているキュー内の特定のポートの識別を可能にするこの実装を行うための方法は、現在定義されていません。
- [プリンタの初期化時間を延長する]を選択すると、プリンタの初期化時間が延長されます。この機能は、プリンタで印刷前の初期化時間を延長する必要がある場合のみ有効にしてください。それ以外の場合は、印刷中に不要な遅延が発生するおそれがあります。

新しい印刷キュー設定の例を図15に示します。

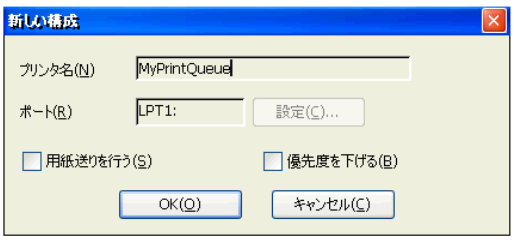


図3-16　LPD - 印刷キューの設定

以下のガイドラインに従ってください。

- [プリンタ名]と[ポート]は、両方参照専用ボックスとして表示されます。
- [ポート]ボックスでCOMポートを選択しており、シリアルポートパラメータを設定する必要がある場合は、[設定]をクリックし、「COMポートの設定」ダイアログボックスを開いて使用します。必要な値を変更して[OK]をクリックするか、ウィンドウの閉じるボタン[X]をクリックして、変更をキャンセルします。
- 各印刷ジョブの最後で用紙送りや排紙を強制的に行う場合は、[用紙送りを行う]を選択します。このチェックボックスは、受信する印刷ジョブが自動的には用紙送りを送信しない場合に選択する必要があることもあります。ただし、受信する印刷ジョブが既に印刷ジョブの最後に用紙送りを送信している場合は、空白ページをさらに受け取ることになる可能性もあります。
- [優先度を下げる]を選択すると、印刷スレッドの優先レベルが低くなり、優先度の高いフォアグランドプロセスと競合する可能性を抑えることができます

LPD設定の編集

印刷キュー設定を編集する手順は以下のとおりです。

1. コントロールパネルの[LPD]をダブルクリックし、「LPDの構成」ダイアログボックスを開きます。

チェック [プリンタ名]を含め、値のすべての組み合わせを変更できます。印刷キュー設定の編集の例を「図16」に示します。

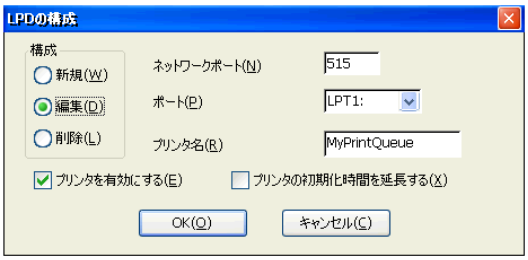


図3-17　LPD - LPD設定の編集

2. [編集]を選択します。

チェック 既存の印刷キュー設定がない場合、[編集]オプションは無効です。

3. 「新しいLPD設定の作成」の設定ガイドラインに従い、値の組み合わせを変更します。必要な値を変更して[OK]をクリックするか、[キャンセル]またはウィンドウの閉じるボタン[X]をクリックして、変更をキャンセルします。

LPD設定の削除

印刷キュー設定を削除する手順は以下のとおりです。

1. コントロールパネルの[LPD]をダブルクリックし、「LPDの構成」ダイアログボックスを開きます。

チェック 既存の印刷キュー設定がない場合、[削除]オプションは無効です。

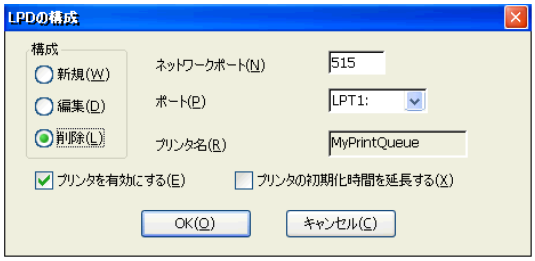


図3-18　LPD - LPD設定の削除

2. [削除]を選択します。
3. [OK]をクリックします。

LPR

本機能は、現在未サポートです。

US110cは、LPRクライアントとして設定できます。LPRは、Line Printer Daemon（LPD）プロトコルのコンポーネントです。LPRはLPDサーバーと連動して機能します。LPRは、印刷ジョブをサーバーに送信するクライアントです。LPDは、1つ以上のLPRクライアントから印刷タスクを受信し、受信したジョブを物理ポートにスプールするサーバーです。LPRの目的は、LPDサーバーによって管理される指定されたラインプリンタキューに印刷ジョブを割り当てることです。LPDの設定については、「Line Printer Daemon（LPD）サービスの設定」を参照してください。

コントロールパネルの[LPR]アイコンをダブルクリックすると、「LPR構成」ダイアログボックスが表示されます。このダイアログボックスを使用すると、LPRクライアントを設定できます。

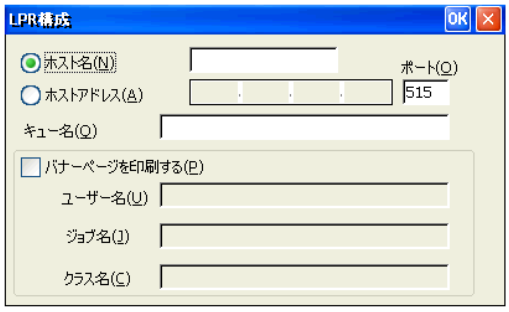


図3-19　LPR構成

以下のガイドラインに従ってください。

- **ホスト名とホストアドレス**

  LPDサーバーの識別名またはIPアドレスのいずれかを入力できます。どちらかは必要です。[ホスト名]は、有効なアドレスに解決できる必要があります。IPアドレスが動的に決定されるので、[Host Name]を使用したほうがより簡単でより移植性が高いものの、[ホスト名]の入力は必須ではありません。

- **ポート**

  LPRクライアントが印刷ジョブを送信するLPDサーバーのポートの値を設定するために使用します。デフォルトでは、LPDサーバーはポート515で待ち受けします。印刷ジョブを送信するLPDサーバーがデフォルト以外のポート値を使用する場合を除き、この値を変更する必要はありません。

- **キュー名**

  LPRクライアントが印刷ジョブを送信するLPDサーバーが管理する特定のキューの名前です。サーバーの動作は、実装によって異なります。印刷を明示的に指定されたキューに制限するサーバーもあれば、キュー名を動的に作成して印刷ジョブを印刷するサーバーもあります。キュー名では大文字小文字が区別されます。

- **バナーページを印刷する**

  メインの印刷ジョブの前にオプションのバナーページを印刷する場合に選択します。このボックスが選択されていない場合、以下に示されているボックスは無効になります。バナーページ印刷は、サーバーによってまったく異なります。以下の項目をバナーページに印刷しない場合は、空白のまま残してください。

- **ユーザー名**

  設定は任意で空白のまま残すことができます(最大長は31文字です)。

- **ジョブ名**

  設定は任意で空白のまま残すことができます(最大長は99文字です)。

- **クラス名**

  設定は任意で空白のまま残すことができます(最大長は31文字です)。

（管理者とプリンタの使用許可持つユーザーのみ）

クライアントプリンタを設定して、ICAまたはRDPセッションからLPRクライアントを使用するには

1. コントロールパネルの[Printers]をダブルクリックすると、「Printers」ダイアログボックスが表示されます。[ローカルプリンタの追加]をダブルクリックし、プリンタ追加ウィザードを開きます。

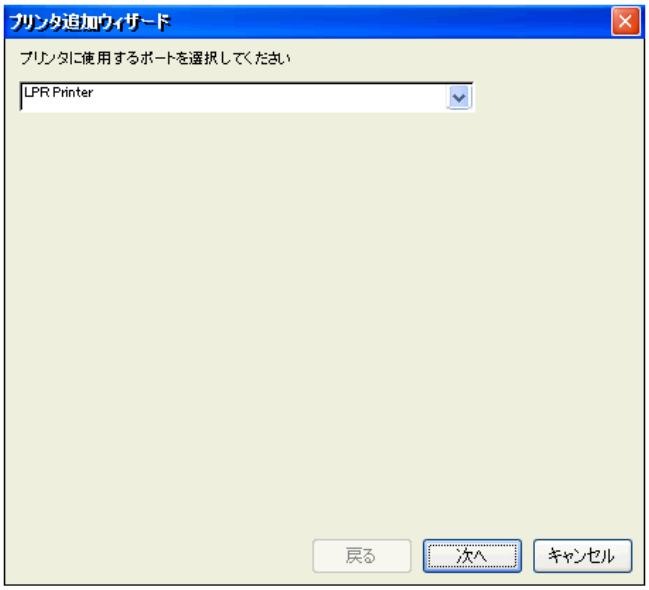


図3-20　LPRの設定 - LPRプリンタの選択

2. プリンタで使用するポートの[LPR Printer]を選択します。

3. [次へ]をクリックし、LPDサーバーに接続されているプリンタに対応するプリンタを追加します。

4. プリンタを選択すると、プリンタに名前を付けるように求められます。[プリンタのニックネーム]はLPRクライアントが使用するものではないので何でも構いません。ICAまたはRDPセッションから印刷を行う場合に簡単に識別できるように意味のある名前を付けておくと便利です。

5. [完了]をクリックします。ICAまたはRDPセッションに接続した後は、設定したプリンタを選択してLPRクライアントを使用することによりLPDサーバーへの印刷が可能になります。

チェック　プリンタの設定と管理については、、『US110c アドミニトレーターズガイド』を参照してください。

モデム

本機能は、現在未サポートです。

コントロールパネルの[モデム]アイコンをダブルクリックすると、「モデムの設定」ダイアログボックスが表示されます（ゲスト権限レベルのユーザーは、この機能を使用できません。）このダイアログボックスを使用すると、モデムの操作に必要な制御コマンドを入力または変更できます。

チェック モデムに対して使用できるモデムATコマンドの一覧については、モデムのマニュアルを参照してください。

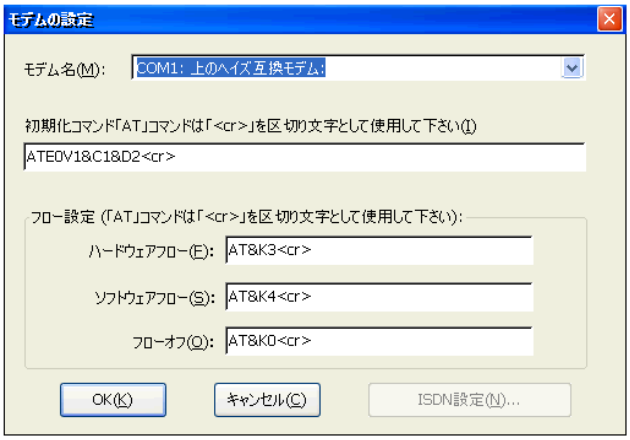


図3-21　モデムの設定

ISDN（Integrated Services Digital Network）を使用する場合は、必ず[ISDN設定]をクリックして「ISDN設定」ダイアログボックスを開いて使用し、ISDNパラメータを入力します。

マウス

コントロールパネルの[マウス]アイコンをダブルクリックすると、「マウスのプロパティ」ダイアログボックスが表示されます。このダイアログボックスを使用すると、マウスのプロパティを設定できます。

図3-22　マウスのプロパティ

以下のガイドラインに従ってください。

- **ボタン設定**

  マウスで使用するボタン設定オプションを選択します。デフォルトは[右利き]です（選択やドラッグなどの主な機能にマウスの左ボタンが使用されます）。

- **ポインタ加速**

  マウスを動かしたときにポインタが最大速度に達するまでの時間を選択します。[低い]が設定されている場合、ポインタが最大速度に達するまでにより長い時間がかかります。

- **ポインタ速度**

  画面上をポインタが動く速度を選択します。スライダを[遅い]に動かすとポインタの動きが遅くなり、[速い]に動かすとポインタの動きが速くなります。

ネットワーク

コントロールパネルの[ネットワーク]アイコンをダブルクリックすると、「ネットワークアダプタの設定」ダイアログボックスが表示されます（ゲスト権限レベルのユーザーは、この機能を使用できません）。このダイアログボックスを使用すると、US110cにインストールされているアダプタの一覧を表示および設定することができます。

チェック　オプションの内蔵ワイヤレス機能を持つUS110cの設定については、「オプションの内蔵ワイヤレス機能の設定」を参照してください。

ネットワークアダプタの設定

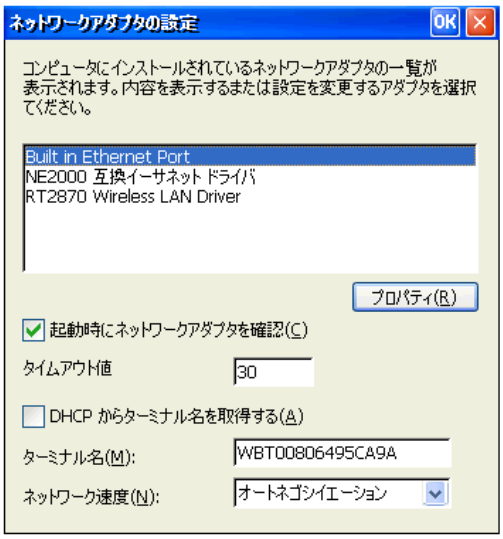


図3-23　ネットワークアダプタの設定

- **[プロパティ]ボタン**
  一覧から選択したネットワークアダプタの設定変更を行います。「設定」ダイアログが起動されます。
- **「起動時にネットワークアダプタを確認」チェックボックス**
  US110c の起動時にネットワークのチェックを行う場合にチェックします。
- **タイムアウト値**
  ネットワークの待ち時間を設定します。（5秒から300秒の間で設定できます。）
- **「DHCPからターミナル名を取得する」チェックボックス**
  DHCPサーバーから割り当てられるターミナル名を使用する場合にチェックします。
- **ターミナル名**
  ターミナル名を入力します。

- **ネットワーク速度**

  一覧からネットワークスピードを選択します。

ネットワークアダプタのプロパティ

IP アドレスタブ

図3-24　「IPアドレス」タブ

- **DHCPを通してIPアドレスを取得します**

  US110c のIPアドレスをDHCPサーバから取得する場合に選択します。

- **IPアドレスを指定**

  US110c のIPアドレスを手動で設定する場合に選択します。

- **IP アドレス**

  IPアドレスを入力します。

  ※「IPアドレスをDHCPから取得する」選択時はグレーアウトされます。

- **サブネットマスク**

  サブネットマスクを入力します。

  ※「IPアドレスをDHCPから取得する」選択時はグレーアウトされます。

- **デフォルトゲートウェイ**

  デフォルトゲートウェイを入力します。

  ※「IPアドレスをDHCPから取得する」選択時はグレーアウトされます。

- **[ワイヤレスプロパティ]ボタン**

  「ワイヤレスネットワーク接続のプロパティ」ダイアログを起動します。

  ※ワイヤレスネットワークアダプタを選択した場合のみ表示されます。

- **[IP Config]ボタン**

  「IPConfig」ダイアログを起動します。

ネームサーバータブ

図3-25 「ネームサーバー」タブ

- **ドメイン**
  ドメイン名を入力します。
  ※「IPアドレスをDHCPから取得する」選択時はグレーアウトされます。
- **プライマリ DNS**
  プライマリDNSのIPアドレスを入力します
- **セカンダリ DNS**
  セカンダリDNSのIPアドレスを入力します
- **プライマリ WINS**
  プライマリWINSのIPアドレスを入力します
- **セカンダリ WINS**
  セカンダリWINSのIPアドレスを入力します

IPConfig 画面

図3-26　IPConfig

- **ネットワークアダプタ**
  ネットワークアダプタを選択します。
- **[リリース]ボタン**
  US110c のIPアドレスを解放します。
- **[更新]ボタン**
  US110c のIPアドレスを再取得します。

オプションの内蔵ワイヤレス機能の設定

使用しているUS110cにオプションの内蔵ワイヤレス機能が搭載されている場合は、以下のガイドラインに従って設定します。

1. コントロールパネルの[ネットワーク]アイコンをダブルクリックすると、「ネットワークアダプタの設定」ダイアログボックスが表示されます(ゲスト権限レベルのユーザーは、この機能を使用できません)。

チェック デスクトップオプションを使用している場合は、タスクバーの右にあるワイヤレスアイコンをダブルクリックして「プロパティ」ダイアログボックスを開き、手順4から実行することもできます。

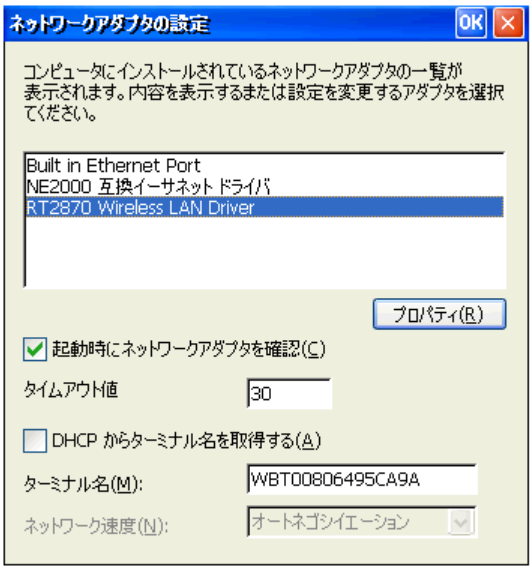


図3-27　ネットワーク アダプタの設定 - 内蔵ワイヤレス機能がある場合

2. 一覧からワイヤレスアダプタを選択して[プロパティ]をクリックし、「設定」ダイアログボックスを開きます。

図3-28　設定 - 内蔵ワイヤレス

3. [ワイヤレスプロパティ]をクリックし、「プロパティ」ダイアログボックスを開きます。

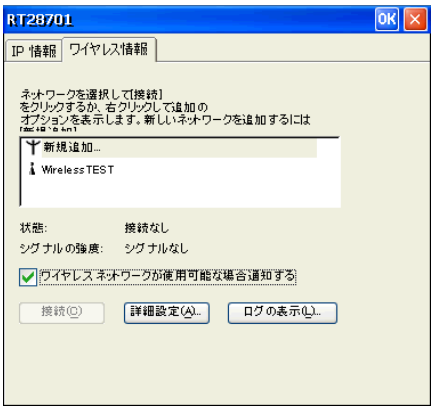


図3-29　プロパティ - 内蔵ワイヤレス

4. [ワイヤレス情報]タブをクリックします。[ワイヤレス情報]タブでは、複数のワイヤレス暗号およびアクセス制御パラメータの設定を行うことができます。使用しているワイヤレス環境によって、以下のいずれかのセクションの説明に従って一連の手順を続行します。
   - 「WEP（Wired Equivalent Privacy）暗号化を使用しない場合」
   - 「WEP（Wired Equivalent Privacy）暗号化を使用する場合」
   - 「802.1x認証を使用する場合 - PEAP-MSCHAPv2」
   - 「802.1x認証を使用する場合 - EAP-TLS」

WEP(Wired Equivalent Privacy)暗号化を使用しない場合

この場合、ワイヤレスアクセスポイントでは暗号化は必要ありません。このオープンな認証システムでは、どのワイヤレスステーションも認証を要求できます。別のワイヤレスステーションとの認証が必要なステーションは、送信側ステーションの識別情報を含む認証管理フレームを送信します。受信側ステーションは、送信側ステーションを認識するかどうかを示すフレームを返します。

1. [ワイヤレス情報]タブのネットワーク一覧で[新規追加]をダブルクリックし、「ワイヤレスネットワークプロパティ」ダイアログボックスを開きます。

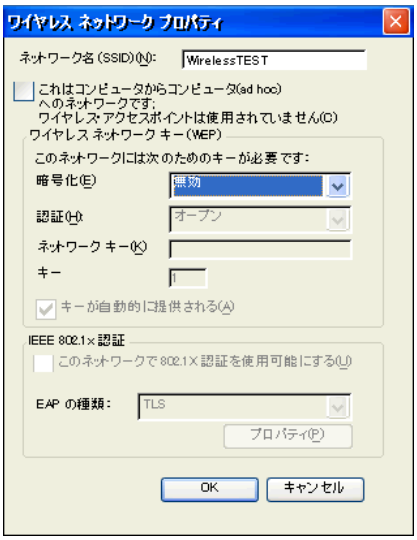


図3-30　暗号化を行わない場合のワイヤレスプロパティ

2. 接続するワイヤレスアクセスポイントのSSIDを入力し、[暗号化]に[無効]を選択します。

3. [OK]をクリックします。

WEP(Wired Equivalent Privacy)暗号化を使用する場合

この場合、ワイヤレスアクセスポイントでは暗号化を使用します。この認証システムでは、64ビットまたは128ビットの暗号化を使用できます。

1. [ワイヤレス情報]タブのネットワーク一覧で[新規追加]をダブルクリックし、「ワイヤレスネットワークプロパティ」ダイアログボックスを開きます。

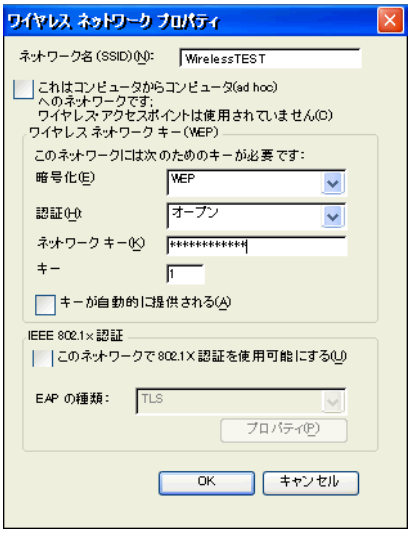


図3-31　暗号化を行う場合のワイヤレスプロパティ

2. 接続するワイヤレスアクセスポイントのSSIDを入力し、[暗号化]に[WEP]を選択します。
3. [認証]で[オープン]を選択します。
4. ネットワークキーを入力します(64ビットの暗号化の場合、キーの長さは10文字、128ビットの暗号化の場合、キーの長さは26文字です)。
5. [キー]を入力します。
6. [OK]をクリックします。

802.1x認証を使用する場合 - PEAP-MSCHAPv2

この場合は、PEAP-MSCHAPv2認証を使用して接続するアクセスポイントに接続するためにアダプタを設定します。

1. [ワイヤレス情報]タブのネットワーク一覧で[新規追加]をダブルクリックし、「ワイヤレスネットワークプロパティ」ダイアログボックスを開きます。

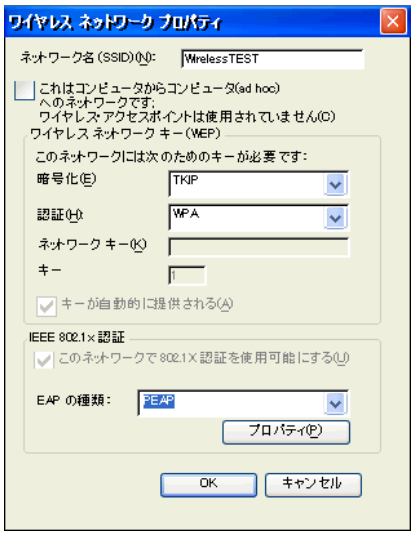


図3-32　PEAP-MSCHAPv2を使用する場合のワイヤレスプロパティの例

2. 接続するワイヤレスアクセスポイントのSSIDを入力します。

3. アクセスポイントの設定によっては、以下のガイドラインに従ってください。
   - WEPを使用するようにアクセスポイントを設定している場合は、[暗号化]で[WEP]を選択します。
   - TKIPを使用するようにアクセスポイントを設定している場合は、[暗号化]で[TKIP]を選択します。
   - 開いている認証を使用するようにアクセスポイントを設定している場合は、[認証]で[オープン]を選択します。
   - ＷＰＡ認証を使用するようにアクセスポイントを設定している場合は、[認証]で[WPA]を選択します。

4. アクセスポイントがWEPキーの送信をサポートしている場合は、[キーが自動的に提供される]を選択します。その他の場合は、[キーが自動的に提供される]の選択を解除し、アクセスポイントのWEPキー設定に合ったネットワークキーを入力します。

5. [このネットワークで802.1X認証を使用可能にする]を選択後、[EAPの種類]で[PEAP]を選択します。

6. [プロパティ]をクリックして「認証設定」ダイアログボックスを開き、[サーバーの有効化]を選択、または選択を解除して[OK]をクリックします。

チェック ワイヤレス接続を認証するRADIUSサーバーは、ユーザーが証明書を受け取るまで信頼のおける局としてUS110cに登録されないので、サーバー証明書をUS110cにインポートした場合を除き、[サーバーの有効化]チェックボックスの選択は解除してください。US110cに証明書をインストールする方法は『US110c アドミニストレータガイド』に記載の[証明書]の項を参照してください。

7. [OK]をクリックします(US110cがアクセスポイントに関連付けられ、「User ログオン」ダイアログボックスが表示されたら、ログオンアカウントの認証情報を入力し、[OK]をクリックします)。

802.1x認証を使用する場合 - EAP-TLS

この場合は、EAP-TLS認証を使用して接続するアクセスポイントに接続するためにアダプタを設定します。

1. [ワイヤレス情報]タブのネットワーク一覧で[新規追加]をダブルクリックし、「ワイヤレスネットワークプロパティ」ダイアログボックスを開きます。

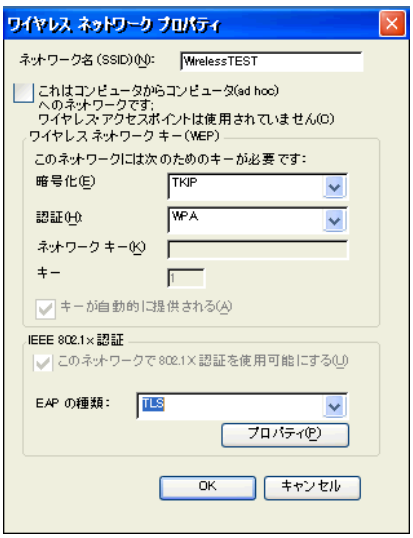


図3-33　EAP-TLSを使用する場合のワイヤレスプロパティの例

2. 接続するワイヤレスアクセスポイントのSSIDを入力します。

3. アクセスポイントの設定によっては、以下のガイドラインに従ってください。
   - WEPを使用するようにアクセスポイントを設定している場合は、[暗号化]で[WEP]を選択します。
   - TKIPを使用するようにアクセスポイントを設定している場合は、[暗号化]で[TKIP]を選択します。
   - 開いている認証を使用するようにアクセスポイントを設定している場合は、[認証]で[オープン]を選択します。
   - WPA認証を使用するようにアクセスポイントを設定している場合は、[認証]で[WPA]を選択します。

4. アクセスポイントがWEPキーの送信をサポートしている場合は、[キーが自動的に提供される]を選択します。その他の場合は、[キーが自動的に提供される]の選択を解除し、アクセスポイントのWEPキー設定に合ったネットワークキーを入力します。

5. [このネットワークで802.1X認証を使用可能にする]を選択後、[EAPの種類]]で[TLS]を選択します。

6. [プロパティ]をクリックして「認証設定」ダイアログボックスを開き、[サーバーの有効化]を選択、または選択を解除します。また、クライアント証明書を選択後[OK]をクリックします(クライアント証明書が既にUS110cにインポートされている必要があります)。

チェック

ワイヤレス接続を認証するRADIUSサーバーは、ユーザーが証明書を受け取るまで信頼のおける局としてUS110cに登録されないので、サーバー証明書をUS110cにインポートした場合を除き、[サーバーの有効化]チェックボックスの選択は解除してください。US110cに証明書をインストールする方法は『US110c アドミニストレータガイド』に記載の[証明書]の項を参照してください。

7. [OK]をクリックします(US110cがアクセスポイントに関連付けられ、「User ログオン」ダイアログボックスが表示されたら、ログオンアカウントの認証情報を入力し、[OK]をクリックします)。

SNTP

コントロールパネルの[SNTP]アイコンをダブルクリックすると、「SNTP クライアント」ダイアログボックスが表示されます(ゲスト権限レベルのユーザーは、この機能を使用できません)。このダイアログボックスを使用すると、SNTP(Simple Network Time Protocol)サーバーが提供する時間にUS110cの時刻を同期させることができます。

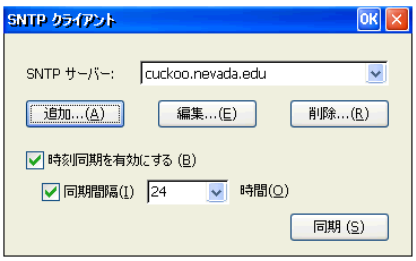


図3-34　SNTP　クライアント

[SNTPサーバー]には、時間同期で問い合わせを行うサーバーが一覧表示されます。この一覧は、[追加]、[編集]、および[削除]を使用して変更できます。

- **時刻同期を有効にする**

  チェックすると、US110c起動時に選択しているSNTPサーバーと時刻同期を行います。

- **同期間隔**

  チェックすると、設定したタイミングでSNTPサーバーと時刻同期を行います。

  時刻同期するタイミングはリストから時間単位(1～24)で選択することができます。

  ※[時刻同期を有効にする]がチェックされていない場合は、グレーアウトされます。

- **[同期]ボタン**

  設定しているSNTPサーバーとの時刻同期を行います。

  同期が失敗した場合は、エラーメッセージが表示されます。

サーバー一覧を変更する場合は、以下のガイドラインに従ってください。

- **追加**

  一覧にサーバーを追加するには、[追加]をクリックして「追加」ダイアログボックスを開き、SNTPサーバーを入力して[OK]をクリックします。

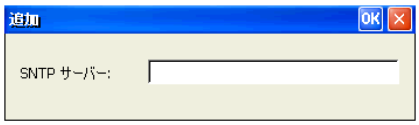


図3-35　SNTP - SNTPサーバーの追加

- **編集**

  一覧内のサーバーを編集するには、一覧内でサーバーを選択し、[編集]をクリックして「SNTPサーバーの編集」ダイアログボックスを開き、編集を行い[OK]をクリックします。

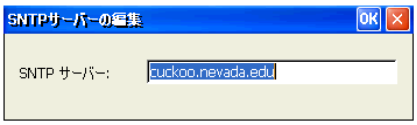


図3-36　SNTP - SNTPサーバーの編集

- **削除**

  一覧からサーバーを削除するには、サーバーを選択して[削除]をクリックし、[はい]をクリックします。

システム

コントロールパネルの[システム]アイコンをダブルクリックすると、「System Info」ダイアログボックスが表示されます。（ゲスト権限レベルのユーザーは、この機能を使用できません）。このダイアログボックスでは、US110c とメモリに関する情報を表示します。

また、[一般]タブ内の「工場出荷時の状態に戻す」を使用すると、US110cを工場出荷時の設定にリセットできます。（管理者権限レベルのユーザのみ使用することができます）。

[一般]タブ

メーカー名、製品情報、メモリ、オペレーティングシステムのバージョン、著作権情報などを表示します。

「工場出荷時の状態に戻す」チェックボックス

US110cを工場出荷時の設定にリセットできます（管理者権限レベルのユーザのみ使用することができます）。

図3-37　[一般]タブ

[システム情報]タブ

システム情報(ネットワークの設定、ハードウェア番号、フラッシュメモリ)を表示します。

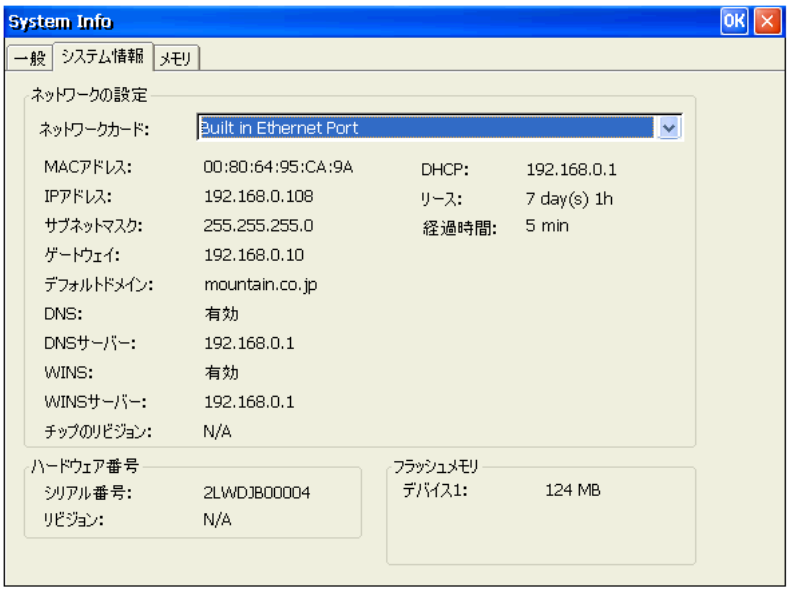


図3-38　[システム情報]タブ

[メモリ]タブ

プログラムの実行と保管用に割り当てられているメモリを表示します。
スライダーを使用してRAMを[データ記憶用]または[プログラム実行用]への割当てを変更することができます。割当てを変更した場合は[OK]ボタンをクリックしてください。

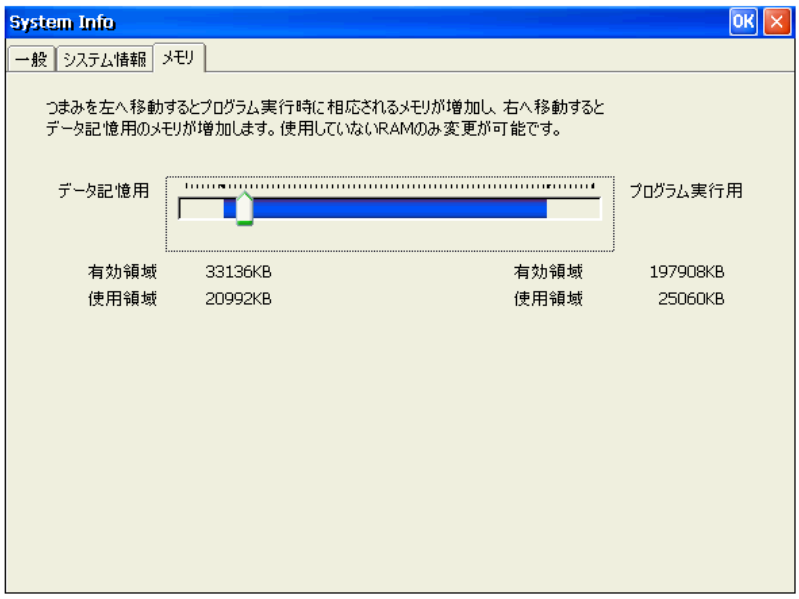


図3-39　[メモリ]タブ

ボリューム

コントロールパネルの[ボリューム]アイコンをダブルクリックすると、「ボリュームのプロパティ」ダイアログボックスが表示されます。このダイアログボックスを使用すると、ボリュームを設定し、各種イベントおよび条件のサウンドを有効にできます。

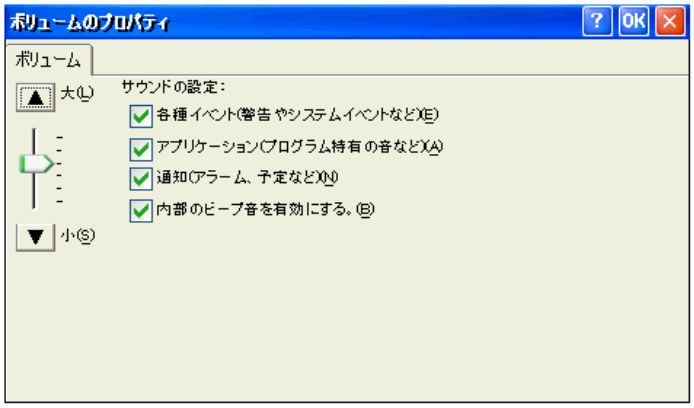


図3-40　ボリューム　プロパティ

～Memo～

4 運用・保守

US110cの運用および保守について説明しています。

クリーニング（→64ページ）

トラブルシューティング（→65ページ）

移動と保管（→67ページ）

ユーザーサポート（→68ページ）

クリーニング

本製品を良い状態に保つために定期的にクリーニングしてください。

⚠警告

本製品を安全にお使いいただくために次の注意事項を必ずお守りください。人が死亡する、または重傷を負うおそれがあります。詳しくは、iiiページ以降の説明をご覧ください。

- **自分で分解・修理・改造はしない**

本体のクリーニング

本製品の外観の汚れは、柔らかい布でふき取ってください。汚れが落ちにくいときは、次のような方法できれいになります。

重要

- **シンナー、ベンジンなどの揮発性の溶剤は使わないでください。材質のいたみや変色の原因になります。**
- **本製品、コンセント、ケーブル、本製品背面のコネクタ、本製品周辺は絶対に水などでぬらさないでください。**

1. 本製品の電源がOFFになっていることを確認する。
2. 本製品の電源コードをコンセントから抜く。
3. 電源コードの電源プラグ部分についているほこりを乾いた布でふき取る。
4. 中性洗剤をぬるま湯または水で薄めて柔らかい布を浸し、よく絞る。
5. 本製品の汚れた部分を手順4で用意した布で少し強めにこすって汚れを取る。
6. 真水でぬらしてよく絞った布でもう一度ふく。
7. 乾いた布でふく。

トラブルシューティング

複数のシンクライアントを組み合わせて使用する場合のトラブル

PowerPointやWebページの画像や動画が表示されない

→ 仮想PCへの接続をログオフせずに切断状態にして、別のシンクライアントから再接続する場合は、最初の接続と、次の接続の色深度を同じ設定としてください。例えば、最初にUS110cで接続する場合の、接続の色深度が16ビットの場合は、次に接続する別のシンクライアント(例えばUS100、またはWindowsXPのRDPクライアント)の接続の色深度も16ビットとしてください。接続の色深度が一致していない場合、後の接続でPowerPointやWebページ等の画像が表示されない場合があります。色深度が違うシンクライアントから接続する可能性がある場合は、各クライアントでの作業を終える場合は、切断ではなく、仮想PCからログオフする運用としてください。
特にUS100との共存環境では、US100のRDP接続の色設定に15ビットは使用しないでください。15ビットを使用した場合、動画が表示されない場合があります。

RDP/ICA/インターネット時刻等の接続でのトラブル

RDP/ICA/インターネット時刻等の接続に失敗した

→ NetBIOS名で名前解決できなかった場合、完全修飾ドメイン名を指定するようにしてください。

× 接続先：vpc-01
○ 接続先：vpc-01.vpcc.nec.com

プリンタのトラブル

US110cにプリンタを作成してRDP接続しても仮想PCにプリンタが作成されない

→ プリンタドライバの日本語版モデル名と英語版モデル名が異なっている場合、US110cからのRDP接続ではプリンタが作成されません。US110cにプリンタを接続する場合、日本語版と英語版のプリンタドライバでモデル名が同じプリンタをご利用ください。

仮想PC接続時のトラブル

仮想PCに接続できない

→ Windows 7またはWindows VistaとUS110cの時刻がずれている場合、RDP接続できないことがあります。正しい時刻に設定してください。

自動ログオン

自動ログオンユーザ以外でログオンできない

→ オートログオンダイアログが表示中に、ALT+F4キーを押してターミナルログオン画面に切り替えて、使用するユーザで ログオンしてください。

移動と保管

本製品を移動・保管するときは保守サービス会社に連絡してください。

⚠警告

装置を安全にお使いいただくために次の注意事項を必ずお守りください。人が死亡する、または重傷を負うおそれがあります。詳しくは、iiiページ以降の説明をご覧ください。

- 自分で分解・修理・改造はしない
- リチウム電池を取り外さない
- プラグを差し込んだまま取り扱わない

⚠注意

装置を安全にお使いいただくために次の注意事項を必ずお守りください。火傷やけがなどを負うおそれや物的損害を負うおそれがあります。詳しくは、 iiiページ以降の説明をご覧ください。

- 落下注意

重要

- フロアのレイアウト変更など大掛かりな作業の場合はお買い上げの販売店または保守サービス会社に連絡してください。
- 再度、運用する際、内蔵機器や本体を正しく動作させるためにも室温を保てる場所に保管することをお勧めします。
  装置を保管する場合は、保管環境条件(温度：-10～55℃、湿度：20～80%)を守って保管してください(ただし、結露しないこと)。

1. 本体の電源をOFF(POWERランプ消灯)にする。
2. 本体に接続している電源コードをコンセントから抜く。
3. 本体に接続しているケーブルをすべて取り外す。
4. 本体に傷がついたり、衝撃や振動を受けたりしないようしっかりと梱包する。

重要

輸送後や保管後、装置を再び運用する場合は、運用の前にシステム時計の確認・調整をしてください。システム時計を調整しても時間の経過と共に著しい遅れや進みが生じる場合は、お買い求めの販売店、または保守サービス会社に保守を依頼してください。本装置、および、内蔵型のオプション機器は、寒い場所から暖かい場所に急に持ち込むと結露が発生し、そのまま使用すると誤動作や故障の原因となります。装置の移動後や保管後、再び運用する場合は、使用環境に十分なじませてからお使いください。

ユーザーサポート

アフターサービスをお受けになる前に、保証およびサービスの内容について確認してください。

保証について

本装置には『保証書』が添付されています。『保証書』は販売店で所定事項を記入してお渡ししますので、記載内容を確認のうえ、大切に保管してください。保証期間中に故障が発生した場合は、『保証書』の記載内容にもとづき無償修理いたします。詳しくは『保証書』およびこの後の「保守サービスについて」をご覧ください。
保証期間後の修理についてはお買い求めの販売店、最寄りのNECまたは保守サービス会社に連絡してください。

重要

- **弊社製以外(サードパーティ)の製品、または弊社が認定していない装置やインタフェースケーブルを使用したために起きた装置の故障については、その責任を負いかねますのでご了承ください。**
- **本体の底面に、製品の形式、SERIAL No.(号機番号)、定格、製造業者名、製造国が明記された銘板が貼ってあります。販売店にお問い合わせする際にこの内容をお伝えください。また銘板の号機番号と保証書の保証番号が一致していませんと、保証期間内に故障した場合でも、保証を受けられないことがありますのでご確認ください。万一違う場合は、販売店にご連絡ください。**

修理に出される前に

「故障かな？」と思ったら、以下の手順を行ってください。

1. 電源コードおよび他の装置と接続しているケーブルが正しく接続されていることを確認します。
2. 「トラブルシューティング（191ページ）」を参照してください。該当する症状があれば記載されている処理を行ってください。
3. 本装置を操作するために必要となるソフトウェアが正しくインストールされていることを確認します。
4. 市販のウィルス検出プログラムなどでサーバーをチェックしてみてください。

以上の処理を行ってもなお異常があるときは、無理な操作をせず、お買い求めの販売店、最寄りのNECまたは保守サービス会社にご連絡ください。その際にサーバーのランプの表示やディスプレイ装置のアラーム表示もご確認ください。故障時のランプやディスプレイによるアラーム表示は修理の際の有用な情報となることがあります。保守サービス会社の連絡先については、付録C「保守サービス会社網一覧」をご覧ください。
なお、保証期間中の修理は必ず保証書を添えてお申し込みください。

重要 **この装置は日本国内仕様のため、NECの海外拠点で修理することはできません。ご了承ください。**

修理に出される時は

修理に出される時は次のものを用意してください。

- □ 保証書
- □ ディスプレイ装置に表示されたメッセージのメモ
- □ 障害情報（障害情報は保守サービス会 社から指示があったときのみ用意してください。）
- □ 本体・周辺機器の記録

補修用部品について

本装置の補修用部品の最低保有期間は、製造打ち切り後5年です。

保守サービスについて

保守サービスはNECの保守サービス会社、およびNECが認定した保守サービス会社によってのみ実施されますので、純正部品の使用はもちろんのこと、技術力においてもご安心の上、ご都合に合わせてご利用いただけます。
なお、お客様が保守サービスをお受けになる際のご相談は、弊社営業担当または代理店で承っておりますのでご利用ください。保守サービスは、お客様に合わせて2種類用意しております。

保守サービスメニュー

契約保守サービス	お客様の障害コールにより優先的に技術者を派遣し、修理にあたります。この保守方式は、装置に応じた一定料金で保守サービスを実施させていただくもので、お客様との間に維持保守契約を結ばせていただきます。さまざまな保守サービスを用意しています。詳しくはこの後の説明をご覧ください。
未契約修理	お客様の障害コールにより、技術者を派遣し、修理にあたります。保守または修理料金はその都度精算する方式で、作業の内容によって異なります。

NECでは、お客様に合わせてさまざまな契約保守サービスを用意しております。サービスの詳細については、「NEC コーポレートサイト（http://www.nec.co.jp/）」の「サポート情報」をご覧ください。

- **サービスを受けるためには事前の契約が必要です。**
- **サービス料金は契約する日数/時間帯により異なります。**

情報サービスについて

本製品に関するご質問・ご相談は「ファーストコンタクトセンター」でお受けしています。
※　電話番号のかけまちがいが増えております。番号をよくお確かめの上、おかけください。

ファーストコンタクトセンター

TEL. 03-3455-5800(代表)

受付時間／9:00～12:00、13:00～17:00　月曜日～金曜日(祝祭日を除く)

お客様の装置本体を監視し、障害が発生した際に保守拠点からお客様に連絡する「エクスプレス通報サービス」の申し込みに関するご質問・ご相談は「エクスプレス受付センター」でお受けしています。
※　電話番号のかけまちがいが増えております。番号をよくお確かめの上、おかけください。

エクスプレス受付センター

TEL. 0120-22-3042

受付時間／9:00～17:00　月曜日～金曜日(祝祭日を除く)

インターネットでも情報を提供しています。

http://www.nec.co.jp/

NEC コーポレートサイト：製品情報、Q&Aなど最新Express情報満載！

http://club.express.nec.co.jp/

『Club Express』:『Club Express会員』への登録をご案内しています。Express5800シリーズをご利用になる上で役立つ情報サービスの詳細をご紹介しています。

http://www.fielding.co.jp/

NECフィールディング(株)ホームページ：メンテナンス、ソリューション、用品、施設工事などの情報をご紹介しています。

～Memo～

付録A　無線LAN仕様一覧

IEEE802.11b/g

項　目	規　格
準拠規格	IEEE802.11b、 IEEE802.11g
通信モード	IEEE802.11bモード：11/5.5/2/1 (Mbpsモード) *1 IEEE802.11gモード：54/48/36/24/12/9/6 (Mbpsモード) *1
無線チャンネル	1～11ch
周波数帯域	2.4GHz帯域（2.4～2.462GHz）

*1：各規格による理論的な通信速度をもとにした通信モード表記であり、実効速度とは異なります。
接続対象機器、電波環境、周囲の障害物、設置環境、使用状況、ご使用のＯＳ、アプリケーション、ソフトウェアなどによっても通信速度、通信距離に影響する場合があります。

IEEE802.11n Draft2.0

項　目	規　格
準拠規格	IEEE802.11n Draft2.0 *1
通信モード	20/40Mbpsモード*2
無線チャンネル	1～11ch
周波数帯域	2.4GHz帯域（2.4～2.462GHz）

*1：「IEEE802.11n Draft2.0準拠」の表記は、他のIEEE802.11nDraft対応製品との接続性を保証するものではありません。
*2：各規格による理論的な通信速度をもとにした通信モード表記であり、実効速度とは異なります。
接続対象機器、電波環境、周囲の障害物、設置環境、使用状況、ご使用のＯＳ、アプリケーション、ソフトウェアなどによっても通信速度、通信距離に影響する場合があります。

付録B　仕　様

項　目	仕　様
CPU	VIA EDEN 1GHz
Chipset	VIA VX855
Memory	128MB Flash/512MB RAM DDR2
I/O Ports	1 x DVI-I port, DVI to VGA (DB-15) adapter included 4 x USB 2.0 ports (2 on front, 2 on back) 2 x PS/2 ports 1 x Mic In 1 x Line Out
Networking	10/100/1000 Base-T Gigabit Ethernet
Display	VESA monitor support with Display Data Control (DDC) Dual monitor supported Single: 1600x1200@60Hz, Color depth: 8, 15, 16, 24 or 32bpp, Two independent full resolution frame buffers Dual: 1600x1200@60Hz, Color Depth: 8, 15, 16, 24 or 32bpp.
Audio	Output: 1/8-inch mini jack, full 16 bit stereo Input: 1/8-inch mini jack, 8 bit microphone
External Dimension (mm)	177（W）×21（D）×34（H）
Weight	0.6kg
Power	Worldwide auto-sensing 100-240 VAC, 50/60 Hz. Energy StarR V.5.0 compliant power supply Average power usage with device connected to 1 keyboard with 1 PS/2 mouse and 1 monitor: Under 7 Watts
Temperature Range	Horizontal: 10-35℃ (50-95 °F) Vertical: 10-40℃ (50-104 °F)
Humidity	20% to 80% condensing 10% to 95% non-condensing
OS	Windows CE 6.0

付録C　保守サービス会社網一覧

本製品、および関連製品のアフターサービスは、お買い上げのNEC販売店、最寄りのNEC、またはNECフィールディング株式会社までお問い合わせください。下記にNECフィールディングのサービス拠点所在地一覧を示します。
（受付時間：月曜日から金曜日AM9:00～PM6:00　土曜日、日曜日、祝祭日および当社規定の休日を除く）
次のWEBサイトにも最新の情報が記載されています。

http://www.fielding.co.jp/

このほか、NEC販売店のサービス網がございます。お買い上げの販売店にお問い合わせください。
トラブルなどについてのお問い合わせは下記までご連絡ください（電話番号のおかけ間違いにご注意ください）。その他のお問い合わせについては、下表を参照してください。

0120-536-111（フリーダイヤル）

携帯電話からは

0570-064-211（通話料お客様負担）

2011年 2月 現在

都道府県名	拠点名	電話番号	郵便番号	所在地
北海道	札幌支店	011-221-3705	060-0042	札幌市中央区大通西4-1　新大通ビル9F
	東札幌支店	011-833-8640	003-0001	札幌市白石区東札幌1条1-6-33
	釧路営業所	0154-32-7100	085-0016	釧路市錦町5-3　三ッ輪ビル2F
	旭川支店	0166-24-2098	070-0033	旭川市三条通9丁目左1号　明治安田生命旭川ビル1F
	オホーツク営業所	0157-25-7520	090-0024	北見市北四条東3-1-1　富士火災北見ビル3F
	苫小牧営業所	0144-36-3846	053-0027	苫小牧市王子町3-2-23　朝日生命苫小牧ビル2F
	室蘭営業所	0143-46-3180	050-0083	室蘭市東町2-24-4　石井第5ビル3F
	函館支店	0138-54-5642	040-0001	函館市五稜郭町1-14　五稜郭114ビル3F
	道東支店	0155-25-4892	080-0013	帯広市西三条南10-32　日本生命帯広駅前ビル5F
	小樽営業所	0134-24-5685	047-0036	小樽市長橋3-4-14
青森	青森支店	017-735-8501	030-0802	青森市本町1-2-20　青森柳町ビル3F
	八戸営業所	0178-44-4354	031-0081	八戸市柏崎1-10-2　八戸第一生命ビル1F
	弘前営業所	0172-34-9083	036-8002	弘前市駅前2-2-2　弘前第一生命ビル1F
岩手	盛岡支店	019-635-3011	020-0866	盛岡市本宮3-13-20
	一関営業所	0191-25-6531	021-0041	一関市赤荻字月町218-2
宮城	仙台支店	022-292-1900	984-0051	仙台市若林区新寺1-3-45　AI.Premium 7F
秋田	秋田支店	018-863-7938	010-0951	秋田市山王1-3-29
山形	山形支店	023-631-3502	990-2445	山形市南栄町3-6-34
	鶴岡営業所	0235-25-8386	997-0013	鶴岡市道形町23-31　山庄ビル1階
	米沢営業所	0238-24-1418	992-0027	米沢市駅前3-5-22　かなつビル1F
福島	郡山支店	024-938-5209	963-8022	郡山市西ノ内1-22-13
	福島支店	024-536-3703	960-8074	福島市西中央五丁目6番1号
	いわき営業所	0246-28-8371	970-8034	いわき市平上荒川字桜町34-1
	会津若松営業所	0242-28-7624	965-0818	会津若松市東千石2-1-45
茨城	鹿島営業所	0299-82-4860	314-0014	鹿嶋市光3　住友金属構内
	つくば支店	029-860-2000	305-0821	つくば市春日3-22-8
	水戸支店	029-257-1860	310-0911	水戸市見和3-575-3
栃木	宇都宮支店	028-632-8140	321-0954	宇都宮市元今泉2-7-6
	小山営業所	0285-21-1495	323-0807	小山市城東1-14-12　ウエルストン1ビル1F
群馬	群馬支店	027-255-5461	371-0855	前橋市問屋町2-4-3　アルファビル4F
	太田営業所	0276-45-0666	373-0853	太田市浜町58-24

都道府県名	拠点名	電話番号	郵便番号	所在地
埼玉	さいたま北支店	048-660-1881	331-0812	さいたま市北区宮原町2-85-5
	熊谷営業所	048-527-0597	360-0036	熊谷市桜木町1-1-1　秩父鉄道熊谷ビル4F
	さいたま南支店	048-859-7360	338-0832	さいたま市桜区西堀8-21-35 カタヤマビル3F
	川越営業所	04-2955-7695	350-1331	狭山市新狭山2-11-10
	越谷営業所	048-978-9500	343-0042	越谷市千間台東1-7-25　エムケービル1F
千葉	千葉支店	043-221-7660	260-0843	千葉市中央区末広1-12-15
	成田営業所	0476-22-5390	286-0033	成田市花崎町807-1　センチュリー成田ビル
	君津営業所	0439-55-7278	299-1144	君津市東坂田1-3-2　京葉君津ビル3F
	船橋営業所	047-434-1615	273-0005	船橋市本町2-10-14　船橋サウスビル8F
	柏支店	04-7165-2100	270-1168	我孫子市根戸1740
	印西営業所	0476-46-4250	270-1352	印西市大塚1-9 千葉ニュータウンエネルギーセンター1階
東京	東京中央支店	03-6436-5155	108-0023	港区芝浦4-9-25　芝浦スクエアビル8F
	大森支店	03-3764-0007	140-0013	品川区南大井6-25-3　ビリーヴ大森ビル8F
	渋谷支店	03-5458-3341	150-0032	渋谷区鶯谷町2-3　COMS（コムス）2F
	新宿支店	03-5155-7810	169-0072	新宿区大久保1-3-21　新宿TXビル6F
	日本橋支店	03-3297-0783	104-0032	中央区八丁堀4-5-8　KDX八丁堀ビル2・3F
	江東支店	03-3649-3230	135-0016	江東区東陽2-2-20　住友不動産東陽駅前ビル1F
	秋葉原支店	03-5821-2474	111-0052	台東区柳橋2-19-6　柳橋ファーストビル8F
	神田支店	03-3233-2411	101-0064	千代田区猿楽町2-7-8　住友水道橋ビル8F
	流通サービス部	03-5806-3801	110-0014	台東区北上野2-23-5　住友不動産上野ビル2号館3階
	立川支店	042-527-2527	190-0022	立川市錦町2-4-6　住友生命立川ビル3F
	小金井支店	042-385-7666	184-0013	小金井市前原町5-9-7
神奈川	神奈川支店	045-314-7625	220-0004	横浜市西区北幸2-8-4　横浜西口KNビル17F
	横須賀営業所	046-827-3188	238-0004	横須賀市小川町14-1　ニッセイ横須賀センタービル1F
	川崎営業所	044-244-1083	210-0011	川崎市川崎区富士見1-6-3　TOKICO事務棟ビル3F
	相模支店	042-746-6111	252-0303	相模原市南区相模大野7-1-6　相模大野第一生命ビル4F
	厚木営業所	046-225-0411	243-0018	厚木市中町4-16-21　プロミティあつぎビル5階
	湘南支店	0463-21-4777	254-0035	平塚市宮の前1-2 あいおいニッセイ同和損保平塚駅前ビル2F
	藤沢営業所	0466-22-0204	251-0055	藤沢市南藤沢17-10　コア湘南田村ビル1F
	玉川支店	044-814-1551	213-0002	川崎市高津区二子5-1-1　高津パークプラザビル4F
	小田原営業所	0465-24-7103	250-0011	小田原市栄町一丁目14-52　MANAXビル6階
山梨	甲府支店	055-226-7564	400-0858	甲府市相生2-3-16　三井住友海上甲府ビル3F
	富士吉田営業所	0555-23-9515	403-0007	富士吉田市中曽根3-2-43　ヤマナシ文具センター1F
長野	松本営業所	0263-34-3320	390-0815	松本市深志1-4-25　松本フコク生命駅前ビル4F
	長野支店	026-224-0050	380-0824	長野市南石堂町1293　長栄南石堂ビル5F
	上田営業所	0268-27-6336	386-0032	上田市諏訪形5-1　豊成ビル5F
新潟	新潟支店	025-243-2315	950-0986	新潟市中央区神道寺南2-4-15
	長岡営業所	0258-35-5217	940-0034	長岡市福住2-3-6　小林石油ビル
富山	富山支店	076-442-2605	930-0004	富山市桜橋通り1-18　住友生命富山ビル1F
	黒部営業所	0765-54-0447	938-0031	黒部市三日市字新光寺1880-1
	高岡営業所	0766-25-4212	933-0912	高岡市丸の内1-40　高岡商工ビル8F
石川	金沢支店	076-223-3188	920-0919	金沢市南町4-55　住友生命金沢ビル1F
	小松営業所	0761-24-3782	923-0926	小松市竜助町36　小松東京海上日動ビルディング3F
福井	福井支店	0776-54-6637	918-8206	福井市北四ツ居町518

都道府県名	拠点名	電話番号	郵便番号	所在地
岐阜	東濃営業所	0572-55-4578	509-5132	土岐市泉町大富261-8
	岐阜支店	058-275-8801	500-8367	岐阜市宇佐南3-4-7
静岡	静岡支店	054-264-6812	422-8004	静岡市駿河区国吉田2-1-20
	富士営業所	0545-64-6735	416-0944	富士市横割1-17-24　FCビル2F
	沼津支店	055-973-6001	411-0906	駿東郡清水町八幡88-1
	浜松支店	053-466-0205	435-0047	浜松市東区原島町111
	掛川営業所	0537-23-2181	436-0222	掛川市下垂木2417　株式会社新開トランスポートシステムズ静岡営業所内2階
愛知	名古屋支店	052-264-7581	460-0007	名古屋市中区新栄2-28-22　NEC名古屋ビル5F
	名古屋南支店	052-694-1031	457-0862	名古屋市南区内田橋1-8-5　アートライフ・タケセイ1F
	半田営業所	0569-22-2762	475-0903	半田市出口町1-130-1　森田ビル4F
	小牧支店	0568-75-5594	485-0029	小牧市中央1-271　大垣共立銀行小牧支店ビル4F
	岡崎営業所	0564-23-5020	444-0044	岡崎市康生通南3-5　住友生命岡崎第二ビル1F
	豊橋営業所	0532-55-3063	440-0084	豊橋市下地町瀬上83
	三河支店	0565-34-1168	471-0034	豊田市小坂本町1-5-3　朝日生命新豊田ビル3F
三重	三重支店	059-227-1622	514-0042	津市新町3-2-1
	四日市営業所	0593-51-0425	510-0075	四日市市安島1-5-10　KOSCO四日市西浦ビル2F
滋賀	滋賀支店	077-525-3156	520-0043	大津市中央4-5-4　BKビル
京都	京都支店	075-812-5800	604-8804	京都市中京区壬生坊城町24-1　古川勘ビル4F
	京都南営業所	075-642-8021	612-8414	京都市伏見区竹田段ノ川原町28-1 竹田駅前第一ビル3F
	福知山営業所	0773-23-6287	620-0940	福知山市駅南町3-6　竹下駅南ビル2F
大阪	本町支店	06-6264-2810	541-0053	大阪市中央区本町2-1-6　堺筋本町センタービル6F
	大阪支店	06-6264-2828	541-0053	大阪市中央区本町2-1-6　堺筋本町センタービル6F
	北大阪支店	06-6835-0017	560-0083	豊中市新千里西町1-2-2　住友商事千里ビル南館2F
	東大阪支店	072-924-6780	581-0803	八尾市光町1-61　嶋野・住友生命ビル7F
	南大阪支店	072-223-8595	590-0075	堺市堺区南花田口町2-3-20　住友生命堺東ビル南館4F
兵庫	豊岡営業所	0796-24-0331	668-0043	豊岡市桜町15-1　幸栄ビル1F
	神戸支店	078-332-5431	650-0031	神戸市中央区東町126　神戸シルクセンタービル3F
	姫路支店	079-289-2684	670-0948	姫路市北条宮の町113
奈良	奈良支店	0742-36-1161	630-8001	奈良市法華寺町219-1
和歌山	和歌山支店	073-428-3222	640-8154	和歌山市六番丁5　和歌山第一生命ビル
鳥取	鳥取営業所	0857-25-6322	680-0845	鳥取市富安2-159　久本ビル4F
	米子営業所	0859-22-8280	683-0805	米子市西福原2-1-1　YNT第10ビル2階
島根	山陰支店	0852-21-0988	690-0049	松江市袖師町2-38　NKTビル7F
	浜田営業所	0855-22-6092	697-0033	浜田市朝日町70-5　朝日第2ビル1F
岡山	岡山支店	086-246-9606	700-0986	岡山市北区新屋敷町1-1-18　新聞製作センター4階
	倉敷営業所	086-426-1371	710-0057	倉敷市老松町4-6-11
	津山営業所	0868-31-2821	708-0023	津山市大手町6-8　城南ビル4F
広島	広島支店	082-248-4222	730-0042	広島市中区国泰寺町2-5-11　西橋屋ビル4F
	呉営業所	0823-21-5129	737-0051	呉市中央1-6-9　センタービル呉駅前6F
	東広島営業所	0824-22-6411	739-0015	東広島市西条栄町10-27　栄町ビル2F
	福山営業所	084-931-8907	720-0973	福山市延広町1-25　明治安田生命福山駅前ビル8F

都道府県名	拠点名	電話番号	郵便番号	所在地
山口	山口支店	083-973-1858	754-0011	山口市小郡御幸町4-9　山陽ビル小郡1F
	山口周防営業所	0833-44-1621	744-0011	下松市西豊井1375-3
	岩国営業所	0827-22-9534	740-0012	岩国市元町1-1-17　デミオ元町3F
	下関営業所	083-257-2939	751-0877	下関市秋根東町8-10　トワムールエクスビル3F
徳島	徳島支店	088-622-1270	770-0852	徳島市徳島町2-19-1 あいおいニッセイ同和損保徳島ビル4F
香川	高松支店	087-833-1708	760-0008	高松市中野町29-2　高松パークビル7F
	丸亀営業所	0877-23-8563	763-0034	丸亀市大手町3-5-18　ジブラルタ生命丸亀ビル7F
愛媛	松山支店	089-945-4145	790-0878	松山市勝山町1-19-3　青木第一ビル5F
	八幡浜営業所	0894-23-0173	796-0010	八幡浜市江戸岡一丁目4-6　江戸岡ビル2F
	宇和島営業所	0895-24-1471	798-0032	宇和島市恵美須町2-4-14　井上ビル
	今治営業所	0898-31-5741	794-0063	今治市片山1-2-20
	新居浜営業所	0897-34-4772	792-0003	新居浜市新田町3-2　新居浜ビル5F
	川之江営業所	0896-58-6208	799-0113	四国中央市妻鳥町1010番地8　共和ビル102号室
高知	高知支店	088-873-8851	780-0870	高知市本町4-2-40　ニッセイ高知ビル3F
福岡	福岡支店	092-472-2853	812-0004	福岡市博多区榎田2-3-27　STS第二ビル3F
	北九州支店	093-522-0581	802-0014	北九州市小倉北区砂津1-5-34　小倉興産23号館4F
	飯塚営業所	0948-24-0919	820-0066	飯塚市大字幸袋526-1　福岡ソフトウェアセンター2F
	久留米営業所	0942-44-5298	839-0809	久留米市東合川2-4-29
	大牟田営業所	0944-51-2655	836-0843	大牟田市不知火町2-7-1　中島物産ビル5F
佐賀	佐賀支店	0952-31-9301	849-0937	佐賀市鍋島3-2-19
	佐賀西営業所	0955-21-0990	848-0045	伊万里市松島916　カルフール101
長崎	長崎支店	095-820-0525	850-0032	長崎市興善町6-5　興善町イーストビル4F
	佐世保営業所	0956-34-3811	857-1161	佐世保市大塔町1266-24
	諫早営業所	0957-23-0471	854-0016	諫早市高城町5-10　諫早商工会館5F
	五島営業所	0959-75-0876	853-0033	五島市木場町252番地8　Fビル1F
熊本	熊本支店	096-383-6777	862-0925	熊本市保田窪本町1-40
大分	大分支店	097-503-2555	870-0921	大分市萩原4-9-65
	中津営業所	0979-23-1182	871-0058	中津市豊田町2-423-10　6 BILL 5F
宮崎	宮崎支店	0985-27-4477	880-0806	宮崎市広島1-18-7　大同生命宮崎ビル9F
	延岡営業所	0982-35-7545	882-0847	延岡市旭町3-1-1 旭化成ネットワークス（株）本社棟1F
	都城営業所	0986-27-1702	885-0071	都城市中町1-7　BTV IT産業ビル7F
鹿児島	鹿児島支店	099-285-2266	890-0062	鹿児島市与次郎2-4-35　KSC鴨池ビル1F
	出水営業所	0996-62-8922	899-0202	出水市昭和町13-1　第二丸久ビル2F
沖縄	沖縄支店	098-876-2788	901-2112	浦添市沢岻2-17-1

US110c
ユーザーズガイド

2011 年 2 月 初版

日 本 電 気 株 式 会 社
東京都港区芝五丁目 7 番 1 号
TEL（03）3454-1111 （大代表）

© NEC Corporation 2011
日本電気株式会社の許可なく複製・改変などを行うことはできません。

<本製品の利用目的について>

本製品は、高速処理が可能であるため、高性能コンピュータの平和的利用に関する日本政府の指導対象になっております。
ご使用に際しましては、下記の点につきご注意いただけますよう、よろしくお願いいたします。

1. 本製品は不法侵入、盗難等の危険がない場所に設置してください。
2. パスワード等により適切なアクセス管理をお願いいたします。
3. 大量破壊兵器およびミサイルの開発、ならびに製造等に関わる不正なアクセスが行われるおそれがある場合には、事前に弊社相談窓口までご連絡ください。
4. 不正使用が発覚した場合には、速やかに弊社相談窓口までご連絡ください。

弊社相談窓口　　ファーストコンタクトセンター
電話番号　03-3455-5800

注　意

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。　VCCI-B

回線への接続について

本製品を公衆回線や専用線に接続する場合は、本製品に直接接続せず、技術基準に適合し認定されたボードまたはモデム等の通信端末機器を介して使用してください。

電源の瞬時電圧低下対策について

本製品は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置(UPS)等を使用されることをお勧めします。

日本国外でのご使用について

本製品は、日本国内での使用を前提としているため、海外各国での安全規格等の適用を受けておりません。したがって、本製品を輸出した場合に当該国での輸入通関および使用に対し罰金、事故による補償等の問題が発生することがあっても、弊社は直接・間接を問わず一切の責任を免除させていただきます。